

京丹後市教育振興計画
主な取組状況のまとめ

平成31年1月
京丹後市教育委員会

目 次

【重点目標1】就学前の子どもの教育・保育環境を充実します・・・ P 1

- 1 就学前教育の環境の整備
- 2 保幼小の連携強化

【重点目標2】確かな学力・生き抜く力を育みます・・・ P 8

- 1 小中一貫教育の推進
- 2 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上
- 3 確かな学力の育成
- 4 社会を生き抜く力の育成

【重点目標3】子どもを健やかに育む教育環境を充実します・・・ P18

- 1 子どもの安全・安心の確保
- 2 学校施設環境等の整備充実
- 3 個に応じた支援体制の充実
- 4 ボランティアによる学習支援の推進

【重点目標4】豊かな人間性・社会性を育みます・・・ P27

- 1 人を思いやり、尊重する社会性の育成
- 2 生徒指導体制、教育相談体制の充実
- 3 家庭・地域の教育力の向上
- 4 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成

【重点目標5】生涯にわたる豊かな学びを支援します・・・ P36

- 1 生涯学習体制づくり
- 2 人権教育の推進
- 3 文化芸術活動の推進
- 4 社会教育施設の整備充実

【重点目標6】歴史文化を活用し、郷土への愛着と誇りを育みます・・・ P45

- 1 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実
- 2 文化財の保護と活用
- 3 資料館施設の整備充実

【重点目標7】たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します・P50

- 1 健康な体づくり
- 2 地域スポーツ活動の推進
- 3 競技力の向上
- 4 社会体育施設の整備充実

京丹後市教育振興計画策定後の平成27年度から平成29年度の取組状況について

- 1～7の重点目標毎に関連事業実績と、設定している「主な目標指標」の推移を掲載しています。
- 計画策定前より取り組んできた事業についても、27年度以降の取組を掲載しています。
- 平成30年度の取組状況の表記について
 - 継続して実施・・・・・・・・・・・・・・・・「継続」
 - 拡大して実施・・・・・・・・・・・・・・・・「拡大」
 - 形態等を改善して実施・・・・・・・・・・・・「改善・効率化」
 - 縮小又は完了ではないが実施していない・・・・「縮小」

京丹後市教育振興計画

H27年度～H29年度 主な取組み状況のまとめ

重点目標	1 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します
基本的方針	<p>就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、幼稚園と保育所の連携を深め、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を目指し、保幼小の連携を強化します。</p> <p>地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。</p>

施策の方向性	<p>1. 就学前教育の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、旧6町域すべてにおいて、保護者の就労状況等の家庭環境に関わらず、就学前の教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進めます。 ○ 子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。 ○ 職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・幼稚園の全職員を対象とした研修の充実を図るとともに、公開保育や職員の交流機会の充実を図ります。
--------	---

取組事業名	1 保育所管理運営事業(H27～)	継続	担当課	子ども未来課																																		
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 保育に必要な保育材料費や給食提供に必要な賄材料費など保育に要する経費や、燃料費・修繕料など施設管理に要する経費により円滑な保育所運営を実施している。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">各年度3月現在 平成29年度</th> </tr> <tr> <th>保育所数</th> <th>入所者数</th> <th>保育所数</th> <th>入所者数</th> <th>保育所数</th> <th>入所者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公設公営</td> <td>14</td> <td>1,247</td> <td>12</td> <td>954</td> <td>12</td> <td>946</td> </tr> <tr> <td>公設民営</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>317</td> <td>1</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14</td> <td>1,247</td> <td>14</td> <td>1,271</td> <td>13</td> <td>1,162</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 施設の老朽化等に伴う維持補修工事や、入所児童に対し適切な教育・保育を提供するための環境整備、安心安全な給食提供を行うことができた。</p> <p>【課題】 老朽化している施設や設備において大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に改修を行う必要がある。</p>					平成27年度		平成28年度		各年度3月現在 平成29年度		保育所数	入所者数	保育所数	入所者数	保育所数	入所者数	公設公営	14	1,247	12	954	12	946	公設民営	0	0	2	317	1	216	合計	14	1,247	14	1,271	13	1,162
	平成27年度		平成28年度			各年度3月現在 平成29年度																																
	保育所数	入所者数	保育所数	入所者数		保育所数	入所者数																															
	公設公営	14	1,247	12	954	12	946																															
公設民営	0	0	2	317	1	216																																
合計	14	1,247	14	1,271	13	1,162																																

取組事業名	2 保育業務委託事業(H27～)	継続	担当課	子ども未来課																																																		
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」に2か月以上児から2歳児まで、「ゆうかり子ども園」「あみの夢保育園」「こうりゅう虹保育園」に6か月以上児から5歳児までの保育を委託し、また、市立保育所のうち「大宮北保育所」の運営を社会福祉法人に委託することにより、保護者の保育ニーズである産休明け・育休明けの保育所利用、保育時間の延長や休日保育等を実施している。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">民営保育所の定員・入所者数</th> <th colspan="3">各年度3月現在</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">定員</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">入所児童数</th> </tr> <tr> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゆうかり乳児保育所</td> <td>30人</td> <td></td> <td>37人</td> <td>36人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>大宮北保育所</td> <td>230人</td> <td></td> <td></td> <td>207人</td> <td>216人</td> </tr> <tr> <td>あみの夢保育園</td> <td>90人</td> <td></td> <td>99人</td> <td>111人</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>こうりゅう虹保育園</td> <td>120人</td> <td></td> <td></td> <td>99人</td> <td>134人</td> </tr> <tr> <td>ゆうかり子ども園</td> <td>150人</td> <td></td> <td>158人</td> <td>167人</td> <td>182人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>294人</td> <td>620人</td> <td>670人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 大宮北保育所、こうりゅう虹保育園は、平成28年度から民営</p> <p>【成果】 保育を委託することで、保育時間の延長や休日保育など保護者の保育ニーズに対応した保育を実施し、保護者の子育てと仕事の両立支援につなげることができた。</p>					民営保育所の定員・入所者数		各年度3月現在			定員		入所児童数			平成27年度	平成28年度	平成29年度	ゆうかり乳児保育所	30人		37人	36人	33人	大宮北保育所	230人			207人	216人	あみの夢保育園	90人		99人	111人	105人	こうりゅう虹保育園	120人			99人	134人	ゆうかり子ども園	150人		158人	167人	182人	合計			294人	620人	670人
	民営保育所の定員・入所者数		各年度3月現在																																																			
	定員		入所児童数																																																			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度																																																	
ゆうかり乳児保育所	30人		37人	36人	33人																																																	
大宮北保育所	230人			207人	216人																																																	
あみの夢保育園	90人		99人	111人	105人																																																	
こうりゅう虹保育園	120人			99人	134人																																																	
ゆうかり子ども園	150人		158人	167人	182人																																																	
合計			294人	620人	670人																																																	

取組事業名	3 保育所保育事業等補助金(H27～)	継続	担当課	子ども未来課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 私立保育所における特別保育事業を推進するため、事業を円滑に実施するための体制作り等に対して補助金を交付している。</p> <p>○延長保育事業・・・通常の保育時間を越えて実施する保育に対して補助するもの ○民間社会福祉施設サービス向上事業・・・施設及び設備の充実に対して補助するもの ○一時預かり事業・・・事業の実績に応じて補助するもの ○障害児保育事業・・・支援の必要な児童に対して配置する職員の経費を補助するもの</p> <p>【成果】 延長保育事業や一時預かり事業などを子育て支援と仕事の両立支援を図るため、民間の施設においても推進することができ、施設修繕や保育備品購入及び加配職員の配置への支援を行うことで、保育の受入体制を整え、多様な保育ニーズに対応することができた。</p>			

取組事業名	4 子育て支援センター事業(H27～)	継続	担当課	子ども未来課																																																																																																																																									
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 保育所入所前の子育て家庭に、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整えるため、市内8カ所で保育所等に併設し、9時から14時の時間帯に指導員を配置し事業を展開している。</p> <p>【成果】 幼稚園入園前・保育所入所前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、8カ所の支援センターを設置することで、地域に密着した子育て支援を推進した。</p> <table border="1"> <caption>地域子育て支援センター利用者数</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>2,620人</td> <td>2,243人</td> <td>2,513人</td> <td>1,953人</td> <td>2,014人</td> <td>1,767人</td> </tr> <tr> <td>大宮北</td> <td>1,741人</td> <td>1,500人</td> <td>1,935人</td> <td>1,733人</td> <td>2,093人</td> <td>1,773人</td> </tr> <tr> <td>大宮南</td> <td>1,838人</td> <td>1,493人</td> <td>1,455人</td> <td>1,209人</td> <td>1,044人</td> <td>1,015人</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>2,474人</td> <td>2,074人</td> <td>1,945人</td> <td>1,810人</td> <td>1,743人</td> <td>1,564人</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>1,467人</td> <td>1,174人</td> <td>1,089人</td> <td>949人</td> <td>1,196人</td> <td>1,103人</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>1,389人</td> <td>1,134人</td> <td>1,219人</td> <td>988人</td> <td>1,050人</td> <td>953人</td> </tr> <tr> <td>かぶと山</td> <td>1,734人</td> <td>1,151人</td> <td>1,089人</td> <td>914人</td> <td>1,680人</td> <td>1,302人</td> </tr> <tr> <td>こうりゅう</td> <td>1,472人</td> <td>1,157人</td> <td>1,899人</td> <td>1,554人</td> <td>1,438人</td> <td>1,321人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14,735人</td> <td>11,926人</td> <td>13,144人</td> <td>11,110人</td> <td>12,258人</td> <td>10,798人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>親子リフレッシュ体操教室利用者数(年間各10回実施)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">教室名</th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベビー</td> <td>164人</td> <td>162人</td> <td>210人</td> <td>201人</td> <td>160人</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>リトルキッズ</td> <td>101人</td> <td>97人</td> <td>110人</td> <td>101人</td> <td>86人</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>キッズ</td> <td>124人</td> <td>95人</td> <td>84人</td> <td>67人</td> <td>93人</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>389人</td> <td>354人</td> <td>404人</td> <td>369人</td> <td>339人</td> <td>307人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>なかよし広場利用者数(毎月1回開催)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>児童</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>383人</td> <td>345人</td> <td>369人</td> <td>347人</td> <td>413人</td> <td>399人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】 保育所等に子育て支援室を併設して実施しているため、安全に配慮し年齢ごとに利用日を設けて運営しているが、地域によっては利用登録者が多く、週に1回程度の利用しかできないところがある。 利用ニーズとして、いつでも自由に参加できる場所の提供を望む声がある。</p>					平成27年度		平成28年度		平成29年度		児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者	峰山	2,620人	2,243人	2,513人	1,953人	2,014人	1,767人	大宮北	1,741人	1,500人	1,935人	1,733人	2,093人	1,773人	大宮南	1,838人	1,493人	1,455人	1,209人	1,044人	1,015人	網野	2,474人	2,074人	1,945人	1,810人	1,743人	1,564人	丹後	1,467人	1,174人	1,089人	949人	1,196人	1,103人	弥栄	1,389人	1,134人	1,219人	988人	1,050人	953人	かぶと山	1,734人	1,151人	1,089人	914人	1,680人	1,302人	こうりゅう	1,472人	1,157人	1,899人	1,554人	1,438人	1,321人		14,735人	11,926人	13,144人	11,110人	12,258人	10,798人	教室名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者	ベビー	164人	162人	210人	201人	160人	150人	リトルキッズ	101人	97人	110人	101人	86人	79人	キッズ	124人	95人	84人	67人	93人	78人		389人	354人	404人	369人	339人	307人		平成27年度		平成28年度		平成29年度		児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者		383人	345人	369人	347人	413人	399人
	平成27年度		平成28年度			平成29年度																																																																																																																																							
	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者																																																																																																																																							
峰山	2,620人	2,243人	2,513人	1,953人	2,014人	1,767人																																																																																																																																							
大宮北	1,741人	1,500人	1,935人	1,733人	2,093人	1,773人																																																																																																																																							
大宮南	1,838人	1,493人	1,455人	1,209人	1,044人	1,015人																																																																																																																																							
網野	2,474人	2,074人	1,945人	1,810人	1,743人	1,564人																																																																																																																																							
丹後	1,467人	1,174人	1,089人	949人	1,196人	1,103人																																																																																																																																							
弥栄	1,389人	1,134人	1,219人	988人	1,050人	953人																																																																																																																																							
かぶと山	1,734人	1,151人	1,089人	914人	1,680人	1,302人																																																																																																																																							
こうりゅう	1,472人	1,157人	1,899人	1,554人	1,438人	1,321人																																																																																																																																							
	14,735人	11,926人	13,144人	11,110人	12,258人	10,798人																																																																																																																																							
教室名	平成27年度		平成28年度		平成29年度																																																																																																																																								
	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者																																																																																																																																							
ベビー	164人	162人	210人	201人	160人	150人																																																																																																																																							
リトルキッズ	101人	97人	110人	101人	86人	79人																																																																																																																																							
キッズ	124人	95人	84人	67人	93人	78人																																																																																																																																							
	389人	354人	404人	369人	339人	307人																																																																																																																																							
	平成27年度		平成28年度		平成29年度																																																																																																																																								
	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者																																																																																																																																							
	383人	345人	369人	347人	413人	399人																																																																																																																																							

取組事業名	5 子育て短期支援事業(H27～)(現:保育支援事業 H30～)	継続	担当課	子ども未来課																								
取組内容及び 成果と課題	【取組内容】 保護者が就労や疾病等の理由により、家庭で子どもを養育することが一時的に困難となった場合に、乳児院や児童養護施設で保護者に代わって養育している。 ○対象者：一時的に児童の養育が困難となった家庭で、京丹後市に居住し、小学4年生までの児童 ○実施期間：原則として月に7日間以内																											
	【成果】 乳児院を運営している社会福祉法人みねやま福祉会に委託し、事業を実施した。 保護者の冠婚葬祭・就労・就学・傷病・学校等行事への参加による一時的な利用があり、養育を必要とする児童及びその家庭の福利向上につなげることができた。																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">子育て短期支援事業利用状況</th> </tr> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0・1歳</td> <td>14人</td> <td>20人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>2歳以上</td> <td>150人</td> <td>116人</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>164人</td> <td>136人</td> <td>133人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">※利用者は延人数</td> </tr> </tbody> </table>				子育て短期支援事業利用状況					平成27年度	平成28年度	平成29年度	0・1歳	14人	20人	32人	2歳以上	150人	116人	101人	計	164人	136人	133人	※利用者は延人数			
	子育て短期支援事業利用状況																											
	平成27年度	平成28年度	平成29年度																									
0・1歳	14人	20人	32人																									
2歳以上	150人	116人	101人																									
計	164人	136人	133人																									
※利用者は延人数																												
【課題】 近年、支援の必要な家庭が増加しているため、委託先事業者の職員体制により利用できない日がある。事業の円滑な利用のために、委託先の社会福祉法人みねやま福祉会と家庭こども相談室の連携が必要である。																												

取組事業名	6 病後児保育事業(H27～)(現:保育支援事業 H30～)	継続	担当課	子ども未来課																								
取組内容及び 成果と課題	【取組内容】 保護者の就労支援と児童の適切な保育を確保するため、病気の回復期にあるが、集団保育が困難な児童に対して、専用の保育室で保育を提供している。 ○委託先：社会福祉法人みねやま福祉会 ○実施場所：幼保連携型認定こども園ゆかり子ども園																											
	【成果】 子どもの病気が治りつつあるが、感染等の関係で集団保育を受けることができない児童を受入れることにより、保護者の就労支援に繋げることができた。																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">病後児保育実施状況</th> </tr> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>0人</td> <td>21人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>利用実績</td> <td>0人</td> <td>11人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>利用日数</td> <td>0日</td> <td>12日</td> <td>18日</td> </tr> <tr> <td colspan="4">※平成27年11月から実施</td> </tr> </tbody> </table>				病後児保育実施状況					平成27年度	平成28年度	平成29年度	申請件数	0人	21人	17人	利用実績	0人	11人	12人	利用日数	0日	12日	18日	※平成27年11月から実施			
	病後児保育実施状況																											
	平成27年度	平成28年度	平成29年度																									
申請件数	0人	21人	17人																									
利用実績	0人	11人	12人																									
利用日数	0日	12日	18日																									
※平成27年11月から実施																												
【課題】 感染症等の流行等によるところはあるが、必要な保護者や児童が利用できるような制度の周知を更に行う必要がある。																												

取組事業名	7 保育所一般経費(H27～)	継続	担当課	子ども未来課
取組内容及び成果と課題	【取組内容】 入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎バス運行、給食調理業務等を行い保育所を運営している。			
	【成果】 保育環境を整え運営が円滑に行われるよう、臨時保育士の任用や児童の健康管理経費、給食調理業務、広域入所委託料、職員の資質向上のための研修経費を支出することで、円滑な保育所運営を行うことができた。			
	保育所一般経費内訳			
	保育所運営に関する経費	臨時職員賃金、健康診断手数料、大腸菌検査手数料 給食調理業務委託料 児童送迎バス運行委託料、維持管理経費 広域入所委託料		
	児童の健康管理に関する経費	嘱託医報酬、児童健診委託料		
	職員の研修に関する経費	講師謝礼、研修等参加旅費		

取組事業名	8 園児等健康管理事業(H27～)	継続	担当課	子ども未来課
取組内容及び成果と課題	【取組内容】 幼稚園における円滑な教育活動を実施するため、専門医による検診や保健衛生管理を行い、園児の健康保持と増進を図っている。			
	【成果】 学校保健安全法をはじめとする関係法令に基づき、各種検診・検査を適正に実施し、園児の健康管理及び健康づくりができた。 ○検診内容：尿検査、眼科健診、耳鼻科健診			

取組事業名	9 幼稚園スクールサポーター等設置事業(H27～)	継続	担当課	子ども未来課
取組内容及び成果と課題	【取組内容】 支援の必要な児童の発育状況等に応じて、臨時職員(加配)を配置している。 また、保護者の就労等による幼稚園教育に対するニーズに応えるため、通常教育時間以降に16時30分までの預かり保育を実施している。			
	【成果】 特別な支援を要する児童に対しては、個別指導計画を作成し、発達に応じた指導を継続的に実施することができた。また、預かり保育を実施することで、保護者の就労等の状況にかかわらず、幼稚園において就園することができた。			
	臨時職員の配置状況			
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
	介護職員	4人	6人	8人
預かり保育職員	1人	3人	4人	
介護・預かり保育職員	4人	9人	8人	
作業員	1人	1人	1人	
計	10人	19人	21人	
	預かり保育利用者数	82人	91人	74人
	【課題】 ○加配職員については、保育従事者が不足する中、必要な人員確保を行い、適正に配置する必要がある。 ○預かり保育については、利用者数の変動に柔軟に対応できる人員配置を行う必要がある。			

取組事業名	10 幼稚園管理運営事業(H27～)	継続	担当課	子ども未来課																																																																							
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 幼稚園の運営に必要な維持管理や、体験活動に必要なバス等の運行等により、教育環境の充実を図り円滑な園運営を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バス運転委託料、自動車借上料 ○教諭等研修旅費 ○燃料費、光熱水費等の維持管理経費 ○備品購入費 <p>【成果】 幼稚園運営に必要な維持管理を行い、必要経費を支出した。預かり保育事業の実施により、保護者の就労等による幼稚園における子育て支援のニーズに応えることができた。</p>																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">幼稚園利用状況</th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>園児数</th> <th>(預かり)</th> <th>園児数</th> <th>(預かり)</th> <th>園児数</th> <th>(預かり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山幼稚園</td> <td></td> <td>59人</td> <td>26人</td> <td>34人</td> <td>8人</td> <td>35人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>大宮幼稚園</td> <td></td> <td>57人</td> <td>22人</td> <td>58人</td> <td>27人</td> <td>57人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>網野幼稚園</td> <td></td> <td>23人</td> <td>6人</td> <td>31人</td> <td>12人</td> <td>24人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>丹後幼稚園</td> <td></td> <td>16人</td> <td>9人</td> <td>18人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>弥栄幼稚園</td> <td></td> <td>10人</td> <td>7人</td> <td>18人</td> <td>10人</td> <td>14人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>かぶと山幼稚園</td> <td></td> <td>14人</td> <td>12人</td> <td>24人</td> <td>17人</td> <td>23人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>179人</td> <td>82人</td> <td>183人</td> <td>91人</td> <td>170人</td> <td>74人</td> </tr> </tbody> </table>				幼稚園利用状況		平成27年度		平成28年度		平成29年度				園児数	(預かり)	園児数	(預かり)	園児数	(預かり)	峰山幼稚園		59人	26人	34人	8人	35人	9人	大宮幼稚園		57人	22人	58人	27人	57人	25人	網野幼稚園		23人	6人	31人	12人	24人	7人	丹後幼稚園		16人	9人	18人	17人	17人	9人	弥栄幼稚園		10人	7人	18人	10人	14人	11人	かぶと山幼稚園		14人	12人	24人	17人	23人	13人			179人	82人	183人	91人	170人
幼稚園利用状況		平成27年度		平成28年度		平成29年度																																																																					
		園児数	(預かり)	園児数	(預かり)	園児数	(預かり)																																																																				
峰山幼稚園		59人	26人	34人	8人	35人	9人																																																																				
大宮幼稚園		57人	22人	58人	27人	57人	25人																																																																				
網野幼稚園		23人	6人	31人	12人	24人	7人																																																																				
丹後幼稚園		16人	9人	18人	17人	17人	9人																																																																				
弥栄幼稚園		10人	7人	18人	10人	14人	11人																																																																				
かぶと山幼稚園		14人	12人	24人	17人	23人	13人																																																																				
		179人	82人	183人	91人	170人	74人																																																																				

取組事業名	11 幼稚園施設管理事業(H27～)	継続	担当課	子ども未来課
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 幼稚園施設の適切な維持管理を実施し、良好な学習環境の確保を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○修繕料 ○貯水槽ある法定検査委託料、建物火災保険料 ○施設管理等に係る委託料 ○事務機器等リース料 <p>【成果】 市内6カ所の幼稚園を運営する上で必要な検査、保守管理委託、事務機器のリース、施設修繕等を実施した。</p>			

施策の 方向性	2. 保幼小の連携強化		
	○保幼小の円滑な接続のためのカリキュラムを開発し、すべての保育所、幼稚園及び小学校で実施します。		

取組事業名	13 小中一貫教育推進事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課																												
取組内容 及び 成果と課題	<p>【取組内容】 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行っている。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="3" style="text-align: center;">(単位:回)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中一貫教育研究推進協議会</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>学校教育連携専門部会</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td> 学校運営部会</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td> カリキュラム作成部会</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>教育フォーラム</td> <td style="text-align: center;">1(峰山中)</td> <td style="text-align: center;">1(網野中)</td> <td style="text-align: center;">1(大宮中)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○丹後学モデルカリキュラム作成(平成28.3月) ○保幼小接続モデルプラン作成(平成28.3月) ○外国語活動・外国語科モデルカリキュラム作成(平成30.3月) ○小中一貫教育全国サミットへの参加(平成29:京都市) ○平成27.4月 小中一貫教育 実施校:峰山・大宮・網野中学校区、準備校:丹後・弥栄・久美浜中学校区 ○平成28.4月 小中一貫教育実施校:全中学校区</p>					(単位:回)				平成27年度	平成28年度	平成29年度	小中一貫教育研究推進協議会	3	3	2	学校教育連携専門部会	18	18	6	学校運営部会	3	3	3	カリキュラム作成部会	15	15	3	教育フォーラム	1(峰山中)	1(網野中)	1(大宮中)
		(単位:回)																														
	平成27年度	平成28年度	平成29年度																													
小中一貫教育研究推進協議会	3	3	2																													
学校教育連携専門部会	18	18	6																													
学校運営部会	3	3	3																													
カリキュラム作成部会	15	15	3																													
教育フォーラム	1(峰山中)	1(網野中)	1(大宮中)																													
<p>【成果】 ○平成28年度から小中一貫教育を市内全域で実施し、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備を推進することができた。 ○小中一貫教育の実施により、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法等を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。 ○合唱祭等の小中連携、合同授業等の小小連携、合同避難訓練等の幼保小中連携等、学園内の小中学校が連携した教育活動の充実を図ることができた。 ○関係者評価項目等の設定条件により、学園の取組等についての検証・評価を各校園単位で進めることができた。また、全学園に設置された学校と地域との連携組織で学園評価を進めることも大きく前進した。</p> <p>【課題】 ○小中一貫教育推進基本計画に基づき、また新学習指導要領の実施を踏まえ小中一貫教育の研究及び検証を進め、より良い教育体制の整備推進を着実に進めていく必要がある。</p>																																

【主な目標指標の推移と成果・今後の課題】

目標指標	単位	計画作成時 (H25年度)	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末	目標値 (H36)
幼稚園の数	園	4	6	6	6	1	6
病後児保育の実施事業所数	事業所	0	1	1	1	1	1
子育て支援センター数	か所	7	8	8	8	8	8
一時預かり実施事業所数	事業所	6	8	10	10	10	9
保育所・幼稚園職員の全体研修数	回	3	3	3	2	3	5

これまでの成果と今後の課題

《幼稚園の数》

【成果】

第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定し、平成33年度までの5ヶ年を期間として、①保育所の再編、②民営化の検討、③認定こども園への移行などを定めている。5つのこども園を認定こども園に移行し、31年度には網野幼稚園を認定こども園に移行する。

《病後児保育の実施事業所数》

【成果】

平成27年度の開設から3年目を迎え、徐々に利用が増加した。

【課題】

特に子育て世代に、この制度の存在を伝える広報活動の推進が必要ある。

《子育て支援センター数》

【成果】

市内8か所で開設しており、保健師、助産師など専門職が子育て相談に対応するとともに、子育て世代間の友達づくり、情報共有など居場所を提供することができた。

【課題】

スペースの関係で児童の年齢に応じたクラス編成により、利用の曜日を定めるという調整をせざるを得ない点がある。

《一時預かり実施事業所数》

【成果】

平成28年度から、大宮北保育所とこうりゅう保育所を公設民営に移行させたことに伴い、両施設とも一時預かりを開始して、サービスの向上を図ることができた。

【課題】

近年の民間保育所への入所希望の増加に伴い、乳児では希望に添えないケースもあるが、第1希望以外は待機をすることから、一時預かりを利用しながら在宅での保育を実施しているケースがある。

《保育所・幼稚園職員の全体研修数》

【成果】

園長・所長はじめ、正職員、臨時職員の教育・保育従事者や調理師に対し、テーマを変えながら年3回の全体研修会実施した。

【課題】

休日を除き、長時間、保育所として開所しているため、常に教育・保育従事者の勤務が必要であり、全ての職員への研修が困難である

京丹後市教育振興計画

H27年度～H29年度 主な取組み状況のまとめ

重点目標	2 確かな学力・生き抜く力を育みます
基本の方針	<p>小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。</p> <p>一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。</p>

施策の方向性	<p>1. 小中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む小中一貫教育を着実に進めます。 ○ 中学校区を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を進めます。 ○ 小中一貫教育等について保護者や地域の理解を得るとともに連携を深めるため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供の機会を拡充します。 ○ 学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。 ○ 小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校評価を充実します。
--------	--

取組事業名	1 小中一貫教育推進事業(H27～)《再掲》	継続	担当課	学校教育課																												
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行っている。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="3">(単位: 回)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中一貫教育研究推進協議会</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>学校教育連携専門部会</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td> 学校運営部会</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td> カリキュラム作成部会</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>教育フォーラム</td> <td>1(峰山中)</td> <td>1(網野中)</td> <td>1(大宮中)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○丹後学モデルカリキュラム作成(H28.3月) ○保幼小接続モデルプラン作成(H28.3月) ○外国語活動・外国語科モデルカリキュラム作成(H30.3月) ○小中一貫教育全国サミットへの参加(H29:京都市) ○H27.4月 小中一貫教育 実施校:峰山・大宮・網野中学校区、準備校:丹後・弥栄・久美浜中学校区 ○H28.4月 小中一貫教育実施校:全中学校区</p> <p>【成果】 ○平成28年度から小中一貫教育を市内全域で実施し、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備を推進することができた。 ○小中一貫教育の実施により、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法等を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。 ○合唱祭等の小中連携、合同授業等の小小連携、合同避難訓練等の幼保小中連携等、学園内の小中学校が連携した教育活動の充実を図ることができた。 ○関係者評価項目等の設定条件により、学園の取組等についての検証・評価を各校園単位で進めることができた。また、全学園に設置された学校と地域との連携組織で学園評価を進めることも大きく前進した。</p> <p>【課題】 小中一貫教育推進基本計画に基づき、また新学習指導要領の実施を踏まえ小中一貫教育の研究及び検証を進め、より良い教育体制の整備推進を着実に進めていく必要がある。</p>					(単位: 回)				平成27年度	平成28年度	平成29年度	小中一貫教育研究推進協議会	3	3	2	学校教育連携専門部会	18	18	6	学校運営部会	3	3	3	カリキュラム作成部会	15	15	3	教育フォーラム	1(峰山中)	1(網野中)	1(大宮中)
	(単位: 回)																															
	平成27年度	平成28年度	平成29年度																													
小中一貫教育研究推進協議会	3	3	2																													
学校教育連携専門部会	18	18	6																													
学校運営部会	3	3	3																													
カリキュラム作成部会	15	15	3																													
教育フォーラム	1(峰山中)	1(網野中)	1(大宮中)																													

取組事業名	2 小中一貫教育実践事業(H28～)	継続	担当課	学校教育課											
取組内容及び 成果と課題	【取組内容】 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の推進に向け、市内全域で小中一貫教育を実施している。														
	○平成28・29年度 各学園の取組内容														
	峰山学園	合唱祭、清掃活動、部活・授業体験、講演会、リーフレット作成等													
	大宮学園	合唱祭、清掃活動、授業研究会、情報モラル研修、リーフレット作成等													
	網野学園	合唱祭、部活動体験、リーフレット作成等													
	丹後学園	合唱祭、小小連携交流会、PTA連携あいさつ運動、教育講演会、リーフレット作成等													
	弥栄学園	合唱祭、心の文化発表会、部活動体験、小中合同授業等													
	久美浜学園	合唱祭、体育祭、あいさつ運動、小小連携交流会、リーフレット作成、部活動体験等													
	○特色ある学校づくり														
	<table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">(単位:校)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table>				(単位:校)				平成28年度	平成29年度	小学校	14	18	中学校	5
(単位:校)															
	平成28年度	平成29年度													
小学校	14	18													
中学校	5	5													
主な取組内容: 郷土学習、環境学習、農業体験、心の学習、ものづくり体験、キャリア教育地域連携、性の学習等															
【成果】 各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法等を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。															
【課題】 小中一貫教育推進基本計画に基づき、また新学習指導要領の実施を踏まえ小中一貫教育の研究及び検証を進め、より良い教育体制の整備推進を着実に進めていく必要がある。															

施策の 方向性	2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上
	○ 子どもの発達や学習の特性等に応じた保幼小中一貫の教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校修了までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。
	○ 教職員の授業実践力や生徒指導力を高める研修を充実します。
	○ 加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。
	○ 京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇り、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。
	○ 子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。
	○ 中学校区を単位として学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。
	○ 市民が学校の教育活動を積極的に支援する学校支援ボランティアの取り組みを拡充します。 ○ 放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制作りを進めます。

取組事業名	3 授業実践力向上対策事業(H27～) (現:小中一貫教育推進事業 H30～)	改善・効率化	担当課	学校教育課
取組内容 及び 成果と課題	【取組内容】 教職員の資質向上を図るための各種講座を実施している。			
	各講座の開催回数と参加人数			
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
	授業実践力開発講座	7回 15人	7回 13人	7回 12人
	授業実践力小中一貫検証講座	1回 11人	2回 32人	2回 45人
	教育実践力サポート講座	17回 24人	21回 56人	8回 57人
	【成果】 ○大学院教授の講義による理論研修とグループ研修を通して、児童生徒の主体的な学習活動の展開、質の高い授業づくり及び学級運営など、授業実践力等の向上を図ることができた。 ○小中学校の教員がそれぞれの授業を参観し、感想や意見交流をすることで、授業実践についての学びが深まり、義務教育9年間を見通した教員の指導力向上を図ることができた。			
	【課題】 新学習指導要領の実施を踏まえ、教員が実践課題を克服し、創意工夫、改善を加えた授業実践力の向上及び授業改善を進めていく必要がある。			

取組事業名	4 学習支援体制整備事業(H27～)	拡大	担当課	学校教育課						
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施し、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進めている。</p> <p>○小学生の放課後学習支援(小学生放課後わくわく自習室)</p> <p>実施地区</p> <table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>宇川連合区、佐野甲区、黒部区</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>宇川連合区、佐野甲区、黒部区、奥大野区</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>宇川連合区、佐野甲区、奥大野区</td> </tr> </table> <p>○中学生の放課後学習支援(地域未来塾)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27年度:網野中、丹後中、H28年度～:全中学校 ・H28年度:ICT機器の整備(タブレット型パソコン246台、プロジェクタ型電子黒板6台) <p>○土曜日を活用した教育活動(わくわく学びサタデー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27～29年度:全小中学校 <p>【成果】</p> <p>○小学生を対象とした「放課後わくわく自習室」の実証研究を3～4地区(地域)で実施し、地域と学校が連携した学びの支援体制づくりの検証を進めることができた。</p> <p>○中学生の放課後学習支援を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るとともに、ICT機器を活用し個々の学習進度に応じた学習支援を行うことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を踏まえ、ニーズに応じた支援体制を構築する必要がある。</p>				平成27年度	宇川連合区、佐野甲区、黒部区	平成28年度	宇川連合区、佐野甲区、黒部区、奥大野区	平成29年度	宇川連合区、佐野甲区、奥大野区
平成27年度	宇川連合区、佐野甲区、黒部区									
平成28年度	宇川連合区、佐野甲区、黒部区、奥大野区									
平成29年度	宇川連合区、佐野甲区、奥大野区									

取組事業名	5 学校支援地域本部事業(H27～)(現 地域学校協働本部事業 H30～)	継続	担当課	生涯学習課												
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】</p> <p>学校からの要請に適した登録ボランティアを地域コーディネーターがマッチングして、学校現場(幼稚園、小・中学校)に派遣し、学習支援やクラブ活動支援を積極的に行っている。</p> <p>○地域コーディネーターの配置 6人(各地域公民館内)</p> <p><ボランティアの状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティア登録人数</td> <td>512人</td> <td>546人</td> <td>578人</td> </tr> <tr> <td>派遣したボランティア人数</td> <td>12,151人</td> <td>14,636人</td> <td>16,623人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】</p> <p>幅広い地域住民の参加により、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、地域全体で未来を担う子供たちの学びや成長を支え、学習支援活動や多世代交流に繋がっている。また、高齢者の生きがいつくりにも繋がっている。</p> <p>【課題】</p> <p>地域ボランティアについては、基本住所地の学校へ派遣しているが、支援活動によっては、指導者が不足するため、地域間の交流を図っているが、学校のニーズに応じた地域ボランティアの確保が必要。</p>					H27年度	H28年度	H29年度	ボランティア登録人数	512人	546人	578人	派遣したボランティア人数	12,151人	14,636人	16,623人
	H27年度	H28年度	H29年度													
ボランティア登録人数	512人	546人	578人													
派遣したボランティア人数	12,151人	14,636人	16,623人													

取組事業名	6 丹後学の活用(学校教育)	継続	担当課	学校教育課
取組内容 及び 成果と課題	【取組内容】 ○全校で小学校3年から総合的な学習の時間を活用して特設のカリキュラムによる「丹後学」を実施している			
	小学校3年	自然を生かした仕事(農業・漁業)を中心に学習		
	小学校4年	丹後ちりめんを中心に学習		
	小学校5年	コメ作り(丹後米)を中心に学習		
	小学校6年	ジオパークを中心に学習		
	中学校1年	小学校で学習した京丹後の歴史、産業、米作り、ジオパークを振り返り 丹後の歴史を学習。その魅力を発信し表現する力が付くよう学習		
	中学校2年	職場体験学習。京丹後市の特色ある産業を理解し自分の将来や生き方を考える学習		
	中学校3年	小学校3年生から学んできたことの総仕上げ 学習してきた内容を論拠として、京丹後市の未来について考える		
	【成果】 ○京丹後市の歴史や文化、自然、産業等に関する知識や理解を深めるとともに、ふるさとへの愛着と誇りを育てることができた。 ○地域での体験や活動、地域の人とのかかわりを通して、地域社会の一員としての自覚を深め、よりよい京丹後市を築こうとする自主的、実践的な態度を育てることにつながった。 ○自己の生き方やあり方を考え、夢と希望、将来への展望を育むことができた。			
	【課題】 丹後学モデルカリキュラムを活用し、目指す子ども像や児童生徒、地域の実態に応じた各学園のカリキュラムをより充実させる必要がある。			

施策の 方向性	3. 確かな学力の育成		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間の系統的な学習指導を実現します。 ○ 全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に行います。 ○ すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。 ○ 「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。 ○ 自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。 ○ 家庭学習が定着するよう、学校と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。 ○ 学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校、高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。 		

取組事業名	7 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業 (H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○教室での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動や異なった学年が参加する部活動に取り組んでいる。 ・入学・卒業記念品、学用品、児童生徒会活動費、理科実験費、道徳副読本、部活動費、学力検査、道徳教科書・指導書(教職員用)ほか ・社会科副読本「京丹後市の歴史」の作成・配布(中学1年生) ・社会科副読本「わたしたちのきょうたんご」の作成・配布(小学3年生) ・山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会参加、体育大会等選手派遣費補助金</p> <p>【成果】 学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。</p> <p>【課題】 各学校において地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、児童生徒の確かな学力等の向上を図る必要がある。</p>			

取組事業名	8 小学校教育振興備品整備事業・中学校教育振興備品事業 (H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○学習環境を整えるため、必要となる教材備品の購入や、図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行っている。中学校の音楽備品については、適正な維持管理を行うとともに計画的に整備している。 ・図書システムの運用 ・教材備品整備、学校図書整備、理科教育等設備整備(理科・算数・数学備品)</p> <p>【成果】 計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科(数学)教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。</p> <p>【課題】 新学習指導要領の導入を見据え、学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。</p>			

取組事業名	9 小学校就学援助事業・中学校就学援助事業（H27～）	継続	担当課	学校教育課																																										
取組内容及び 成果と課題	【取組内容】 ○要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、就学援助費及び特別支援教育就学奨励費を支給した。																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="371 252 860 285">要保護・準要保護 認定者数</th> <th colspan="6" data-bbox="1379 252 1506 285">(単位:人)</th> </tr> <tr> <th data-bbox="371 285 533 319"></th> <th colspan="2" data-bbox="626 285 860 319">平成27年度</th> <th colspan="2" data-bbox="953 285 1188 319">平成28年度</th> <th colspan="2" data-bbox="1281 285 1516 319">平成29年度</th> </tr> <tr> <th data-bbox="371 319 533 352"></th> <th data-bbox="571 319 698 352">要保護</th> <th data-bbox="717 319 844 352">準要保護</th> <th data-bbox="899 319 1026 352">要保護</th> <th data-bbox="1044 319 1172 352">準要保護</th> <th data-bbox="1226 319 1354 352">要保護</th> <th data-bbox="1372 319 1499 352">準要保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="371 352 533 386">小学校</td> <td data-bbox="626 352 698 386">33</td> <td data-bbox="771 352 844 386">269</td> <td data-bbox="953 352 1026 386">26</td> <td data-bbox="1099 352 1172 386">261</td> <td data-bbox="1281 352 1354 386">21</td> <td data-bbox="1426 352 1499 386">245</td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 386 533 419">中学校</td> <td data-bbox="626 386 698 419">21</td> <td data-bbox="771 386 844 419">202</td> <td data-bbox="953 386 1026 419">18</td> <td data-bbox="1099 386 1172 419">191</td> <td data-bbox="1281 386 1354 419">16</td> <td data-bbox="1426 386 1499 419">172</td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 419 533 453">計</td> <td data-bbox="626 419 698 453">54</td> <td data-bbox="771 419 844 453">471</td> <td data-bbox="953 419 1026 453">44</td> <td data-bbox="1099 419 1172 453">452</td> <td data-bbox="1281 419 1354 453">37</td> <td data-bbox="1426 419 1499 453">417</td> </tr> </tbody> </table>				要保護・準要保護 認定者数	(単位:人)							平成27年度		平成28年度		平成29年度			要保護	準要保護	要保護	準要保護	要保護	準要保護	小学校	33	269	26	261	21	245	中学校	21	202	18	191	16	172	計	54	471	44	452	37	417
	要保護・準要保護 認定者数	(単位:人)																																												
		平成27年度		平成28年度		平成29年度																																								
	要保護	準要保護	要保護	準要保護	要保護	準要保護																																								
小学校	33	269	26	261	21	245																																								
中学校	21	202	18	191	16	172																																								
計	54	471	44	452	37	417																																								
【成果】 ○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象児童生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○平成29年度から新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学児童生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。																																														
【課題】 経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。																																														

施策の 方向性	4. 社会を生き抜く力の育成
	<p>○ 子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。</p> <p>○ 「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。</p> <p>○ 児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲を高めるため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。</p> <p>○ 小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。</p>

取組事業名	10 学校情報化推進事業(H27～)	拡大	担当課	学校教育課
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 ○全小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、情報教室用パソコン及びサーバー機器の維持管理を行うとともに、ウイルス対策を行っている。また、校務支援システム及び全小学校の6年生教室に電子黒板等の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27年度:スイッチングハブ(8台)、ファイアウォール(1台)の更新 ・H28年度:校務支援システム(1式)の導入、校務用プリンター(13台)の更新 ・H29年度:タッチパネル式電子黒板(23台)、タブレット型パソコン(23台)の導入 <p>【成果】 ○ネットワークを利用した遠隔操作などにより、全小中学校に整備した校内LAN、1,756台のパソコン(校務、普通教室、情報教室)及びサーバー機器の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。 ○全小学校6年生教室へ電子黒板等の整備を行い、情報教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>【課題】 新学習指導要領に対応した学校のICT環境水準の維持・向上を図るため、計画的な機器の更新や整備を進める必要がある。</p>			

取組事業名	11 小・中学校情報教育環境整備事業【再編交付金活用事業】(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 ○平成26年度に整備した全小中学校27校(小学校20校、中学校7校)の情報教室パソコン等について、リース料を支出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン(Windows8.1)798台、サーバー28台、プリンタ35台、授業支援システム27式、学習用統合ソフト20式 <p>【成果】 全小中学校の情報教室パソコン等の更新整備を行い、情報教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>【課題】 新学習指導要領に対応した学校のICT環境水準の維持・向上を図るため、計画的な機器の更新や整備を進める必要がある。</p>			

取組事業名	12 児童生徒国際交流事業(H28～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 ○平成27年6月のケネディ駐日大使の来丹を契機に、鳴き砂の浜があるマサチューセッツ州のマンチェスター・メモリアル小学校と島津小学校との交流を行い、児童が製作する作品の交換等を行っている。 ○小中学生を対象とした異文化理解・国際交流プログラムを実施している。 ○学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため、平成28年度から中学生海外派遣事業を実施している。</p> <p>(平成29年度中学生の海外派遣の概要) <ul style="list-style-type: none"> ・派遣先:ニュージーランド ニュープリマス市(スポッツウッド・カレッジ) ・派遣期間:平成30年3月14日(水)～22日(木)の8泊9日間 ・派遣生徒:中学2年生 15人(選考により決定) </p> <p>【成果】 小学生国際交流、小中学生文化体験及び中学生海外派遣を行い、語学力の向上及び国際的視野をもった人材を育成するための国際交流事業を推進することができた。</p> <p>【課題】 国際的視野を持った児童生徒を育成するため、国際交流事業の取組の充実を図る必要がある。</p>			

取組事業名	13 外国語指導助手招致事業(H27～)	継続	担当課	教育総務課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】</p> <p>○各中学校に1名(計6名)の外国語指導助手(ALT)を配置している。 中学校を拠点に、中学校で外国語授業の補助、小学校で外国語活動の補助を行っている。</p> <p>○H30.4月からは、小学校の新学習指導要領の先行実施により、週2日程度小学校へ派遣している。 (※H32～新学習指導要領 小学校中学年:外国語活動/35時間、高学年:外国語/70時間)</p> <p>【成果】</p> <p>児童・生徒に生きた外国語や外国文化を学ぶ機会を直接的・継続的に確保することができ、外国語教育と国際理解教育の促進につながった。</p> <p>【課題】</p> <p>小学校中学年の英語活動、高学年の教科化に向け、小中学校の連携したALTの活用を進める必要がある。</p>			

取組事業名	14 国際交流員招致事業(H28～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】</p> <p>○国際交流事業の取組の推進や異文化理解を推進するため、平成28年8月から国際交流員を学校教育課に配置し、保育所、幼稚園、小中学校、その他の団体へその専門性と見識等を活かした指導、助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任用開始:平成28年8月～ ・任用人数:1人 <p>【成果】</p> <p>国際交流員を配置し、国際交流関係事業の実施や児童生徒の国際理解教育の推進を図ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>海外派遣事業、小学生国際交流、小中学生文化体験等の本市が実施する国際交流事業の取組にあった国際交流員の確保が必要である。</p>			

取組事業名	15 丹後学の活用(学校教育)《再掲》	継続	担当課	学校教育課														
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】</p> <p>○全校で小学校3年から総合的な学習の時間を活用して特設のカリキュラムによる「丹後学」を実施している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">小学校3年</td> <td>自然を生かした仕事(農業・漁業)を中心に学習</td> </tr> <tr> <td>小学校4年</td> <td>丹後ちりめんを中心に学習</td> </tr> <tr> <td>小学校5年</td> <td>コメ作り(丹後米)を中心に学習</td> </tr> <tr> <td>小学校6年</td> <td>ジオパークを中心に学習</td> </tr> <tr> <td>中学校1年</td> <td>小学校で学習した京丹後の歴史、産業、米作り、ジオパークを振り返り 丹後の歴史を学習。その魅力を発信し表現する力が付くよう学習</td> </tr> <tr> <td>中学校2年</td> <td>職場体験学習。京丹後市の特色ある産業を理解し自分の将来や生き方を考える学習</td> </tr> <tr> <td>中学校3年</td> <td>小学校3年生から学んできたことの総仕上げ 学習してきた内容を論拠として、京丹後市の未来について考える</td> </tr> </table> <p>【成果】</p> <p>○京丹後市の歴史や文化、自然、産業等に関する知識や理解を深めるとともに、ふるさとへの愛着と誇りを育てることができた。</p> <p>○地域での体験や活動、地域の人とのかかわりを通して、地域社会の一員としての自覚を深め、よりよい京丹後市を築こうとする自主的、実践的な態度を育てることにつながった。</p> <p>○自己の生き方やあり方を考え、夢と希望、将来への展望を育むことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○丹後学モデルカリキュラムを活用し、目指す子ども像や児童生徒、地域の実態に応じた各学園のカリキュラムをより充実させる必要がある。</p>				小学校3年	自然を生かした仕事(農業・漁業)を中心に学習	小学校4年	丹後ちりめんを中心に学習	小学校5年	コメ作り(丹後米)を中心に学習	小学校6年	ジオパークを中心に学習	中学校1年	小学校で学習した京丹後の歴史、産業、米作り、ジオパークを振り返り 丹後の歴史を学習。その魅力を発信し表現する力が付くよう学習	中学校2年	職場体験学習。京丹後市の特色ある産業を理解し自分の将来や生き方を考える学習	中学校3年	小学校3年生から学んできたことの総仕上げ 学習してきた内容を論拠として、京丹後市の未来について考える
小学校3年	自然を生かした仕事(農業・漁業)を中心に学習																	
小学校4年	丹後ちりめんを中心に学習																	
小学校5年	コメ作り(丹後米)を中心に学習																	
小学校6年	ジオパークを中心に学習																	
中学校1年	小学校で学習した京丹後の歴史、産業、米作り、ジオパークを振り返り 丹後の歴史を学習。その魅力を発信し表現する力が付くよう学習																	
中学校2年	職場体験学習。京丹後市の特色ある産業を理解し自分の将来や生き方を考える学習																	
中学校3年	小学校3年生から学んできたことの総仕上げ 学習してきた内容を論拠として、京丹後市の未来について考える																	

【主な目標指標の推移と成果・今後の課題】

目標指標	単位	計画作成時 (H25年度)	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末	目標値 (H36)
学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)	中学校区	0	3	4学園	6学園		6(全中学校区で実施)
学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童の割合<小学生>	%	73.2 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙(小6)	77.5	76.3	76.2		80%以上
学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の生徒の割合<中学生>	%	50.6 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(中3)	50.6	55.2	60.2		70%以上
一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着	%	小中学校各教科の全国平均正答率	中学校数学Bを除く全教科全国平均以上	中学校数学Bを除く全教科全国平均以上	全教科全国平均以上		市平均の全教科全国平均以上
将来の夢や目標を持っている生徒の割合<中学生>	%	70.0 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(中3)	69.3	66.5	67.7		90%以上

これまでの成果と今後の課題

《学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)》

【成果】

全ての学校の学校関係者評価の重点項目及び具体的方策に「本市の小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等を基盤とした作成」を求めたこと、全ての園の学校関係者評価の必須項目に「小中一貫教育の推進」を設定したことにより、学園の取組等についての検証・評価を各校園単位でもPDCAサイクルで進めることができた。また、全ての学園に設置された学校と地域との連携組織で学園評価を進めることも大きく前進した。

《学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合》

【成果】

小中一貫教育の推進により、各学園で「家庭学習の手引き」を作成するなど、学習習慣の定着に向けた指導や取組を行っている効果が徐々に表れ、中学生では、家庭学習時間が増加傾向にある。

【課題】

小中学校とも目標値にはあと一歩届いていない状況が見られるので、中心的に取り組む期間だけでなく、家庭学習の充実に向けた家庭との連携を日常的に進め、小中学校での家庭学習習慣の定着をより一層図っていく必要がある。

《一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着》

【成果】

平成29年度の本市の全国学力・学習状況調査結果は、全ての教科で正答率が全国平均を上回った。これは、各学園・学校が本調査等の結果を分析し、授業改善や個の課題に応じた支援を行ったことや小中一貫教育の推進により、指導方法の一貫性、連続性、系統性を意識した指導が確実に定着してきている成果と考えている。

【課題】

引き続き、児童生徒の学力の維持・向上を図るため、授業改善や各学園での授業研究等を推進していく必要がある。

《将来の夢や目標を持っている生徒の割合》

【成果】

将来の夢や目標を持っていると回答した本市生徒の割合は、前年度比で増加しているものの全国・府平均より低い状況にある。

【課題】

キャリア教育の視点も入った「丹後学」のモデルカリキュラムを積極的に活用するとともに、生徒の自己肯定感を高める取組や特に中学校の職場体験等を通じたキャリア教育のより一層の推進・充実を図っていく必要がある。

京丹後市教育振興計画

H27年度～H29年度 主な取組み状況のまとめ

重点目標	3	子どもを健やかに育む教育環境を充実します
基本の方針	<p>災害や事件・事故等に備えた安全確保のため、学校施設の老朽化対策や耐震化等を計画的に進めるとともに、児童生徒が自らの安全をまもるための能力を身に付けさせる安全教育や、また、ボランティアの協力を得る等、地域が一体となって支える教育環境づくりを進めます。</p> <p>また、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての子どもの健やかな育ちを保障する教育環境を整備します。</p>	

施策の方向性	1. 子どもの安全・安心の確保
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導や子ども安心パトロール車の運行等、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら、学校内外における安全確保に努めます。 ○ 学校再配置による校区の拡充に伴い、遠距離通学用スクールバスの安全な運行管理及び車両管理を実施します。 ○ 児童生徒自身の危機対応能力を育むため、各学校の危機管理マニュアルに基づく防災教育や安全教育を計画的・継続的に実施します。

取組事業名	1 学校医委嘱事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○児童生徒等の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図るため、学校保健安全法に基づき各学校及び幼稚園に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を設置している。</p> <p>・H29年度設置状況: 幼稚園 医師 6人、歯科医 6人、薬剤師 6人 小学校 医師19人、歯科医19人、薬剤師19人 中学校 医師 6人、歯科医 6人、薬剤師 6人</p> <p>【成果】 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断(内科・歯科等)、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒等の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。</p>			

取組事業名	2 学務経費(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○学齢簿の管理、就学時健診、小中学校の枠を超えた取組及び特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>・小中学校音楽フェスティバルの開催(H27.11.21、H28.11.19、H29.11.15) ・特別支援学級ふれあい交流会、就学時健康診断</p> <p>【成果】 ○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○小中学校音楽フェスティバルや特別支援学級に在籍する児童生徒の学校間交流を通じて、社会性や豊かな人間性の育成を支援することができた。</p> <p>【課題】 小中学校音楽フェスティバルについては、児童生徒及び教職員の負担軽減のため、取組の内容を検討する必要がある。</p>			

取組事業名	3 学校安全対策事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○子ども安心パトロール車(にこにこカー)の配置 保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、園児、児童生徒を事件や事故から守るため、子ども安心パトロール車(にこにこカー)を各学校・幼稚園に20台、教育委員会事務局に1台配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めている。</p> <p>○スクールガードリーダーの巡回・指導 警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行っている。(年間巡回活動等実績:66回×5人=330回)</p> <p>○歩行型除雪機の配置 積雪時の登校上の安全性を高めるため、各学校に歩行型除雪機を配置するとともにボランティアによる除雪活動の体制づくりを支援している。</p> <p>【成果】 各幼稚園・小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊等による地域ぐるみの見守り活動や積雪時の除雪活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進し、園児、児童、生徒の安全につながった。</p> <p>【課題】 ○子ども安心パトロール車(にこにこカー)やスクールガード・リーダーによる登下校時の巡回の継続等により、安全体制の更なる強化を図っていく必要がある。 ○通学路の安全性をより高めるため、関係機関と連携し除雪体制を更に推進していく必要がある。</p>			

取組事業名	4 児童教職員健康管理事業・生徒教職員健康管理事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○児童生徒及び教職員の健康の保持増進と小中学校の教育活動における安全な環境を整えるため、児童生徒及び教職員の健康診断を行うとともに、教育活動等の安全対策のためAEDを設置している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒健診の種類:眼科、耳鼻科、心臓、尿検査、血液検査、脊柱側彎検査、結核検診 ・AED設置校:全校 <p>【成果】 AEDの全校配備をはじめ、健康診断、結核検診の実施など、児童生徒及び教職員の健康の保持増進、学校の安全な環境を整備することができた。</p> <p>【課題】 児童生徒及び教職員の健康の保持増進と小中学校の安全な教育活動を推進するため、児童生徒及び教職員の健康診断とあわせてより安全性が高まる取組を進めていく必要がある。</p>			

取組事業名	5 小学校スクールバス運行管理事業・中学校スクールバス運行管理事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課												
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた児童生徒の通学のためにスクールバスを運行している。 (バス運行台数)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>25台</td> <td>28台</td> <td>27台</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>18台</td> <td>18台</td> <td>18台</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成29年度にはドライブレコーダーを全車に設置した。</p> <p>【成果】 スクールバスの運行により、小中学校に通学する児童生徒の安全な通学手段を確保することができた。</p> <p>【課題】 より安全なスクールバスの運行を行うため、運行管理委託業者への指導の徹底・安全研修及びドライバーへの安全啓発等を継続して行う必要がある。</p>					平成27年度	平成28年度	平成29年度	小学校	25台	28台	27台	中学校	18台	18台	18台
	平成27年度	平成28年度	平成29年度													
小学校	25台	28台	27台													
中学校	18台	18台	18台													

取組事業名	6 小学校スクールバス購入事業・中学校スクールバス購入事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた児童生徒の通学のためにスクールバスを購入した。 ・平成27年度:小学校4台(いさなご小・宇川小)、中学校1台(久美浜中) ・平成29年度:小学校1台(網野南小)、中学校1台(峰山中)</p> <p>【成果】 小中学校に通学する児童生徒の安全な通学手段を確保することができた。</p> <p>【課題】 スクールバスの安全な運行を確保するため、計画的に車両を更新する必要がある。</p>			

取組事業名	7 小学校通学支援事業・中学校通学支援事業(H27～)	改善・効率化	担当課	学校教育課																																														
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図っている。 ○自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減をている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">(遠距離通学支援)</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">(ヘルメット購入支援)</th> </tr> <tr> <th colspan="3">(単位:人)</th> <th colspan="3">(単位:人)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>25</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>小学校</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>中学校</td> <td>284</td> <td>277</td> <td>246</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34</td> <td>37</td> <td>26</td> <td>計</td> <td>285</td> <td>277</td> <td>246</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 自転車通学や遠距離通学をする児童生徒を対象としたヘルメットの購入支援や遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。</p> <p>【課題】 児童生徒の通学時の安全確保と保護者の負担軽減を図るため、引き続き通学支援を行っていく必要がある。</p>					(遠距離通学支援)				(ヘルメット購入支援)			(単位:人)			(単位:人)				平成27年度	平成28年度	平成29年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	小学校	25	28	26	小学校	1	0	0	中学校	9	9	0	中学校	284	277	246	計	34	37	26	計	285	277	246
	(遠距離通学支援)					(ヘルメット購入支援)																																												
	(単位:人)				(単位:人)																																													
	平成27年度	平成28年度	平成29年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度																																											
小学校	25	28	26	小学校	1	0	0																																											
中学校	9	9	0	中学校	284	277	246																																											
計	34	37	26	計	285	277	246																																											

施策の 方向性	2. 学校施設環境等の整備充実		
	○ 学校再配置に伴う拠点校の施設整備を進めます。		
	○ 学校施設耐震化計画に基づき、学校施設の耐震化及び非構造部材の耐震対策を計画的に進めます。		
	○ 学校施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい学校施設の改修・修繕等を計画的に進めます。		

取組事業名	8 学校再配置推進事業(H27～)	縮小	担当課	学校教育課
取組内容 及び 成果と課題	<p>【取組内容】 ○学校再配置事業を円滑に推進するため、学校づくり準備協議会を設置し、新しい学校の開校に向けた取組を進めるとともに、再配置後の枠組に応じた児童の交流学習などを行っている。また、閉・開校式の実施及び閉校に伴う地域(旧校区)での取組を支援している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度:開校(網野中)、閉校(吉原小・五箇小)、閉校記念誌補助金(五箇小) ・平成28年度:開校(いさなご小)、閉校記念誌補助金(吉原小) ・平成29年度:閉校(丹波小・新山小) ・平成30年度:開校(しんざん小) ※31年3月 閉校:間人小・豊栄小 <p>【成果】 再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けて取り組み、計画どおりに再配置を行うことができた。</p> <p>【課題】 引き続き、学校再配置基本計画の後期計画に基づき、学校再配置を計画的に推進する必要がある。</p>			

取組事業名	9 小学校再配置施設整備事業(H28～H29)	終了	担当課	教育総務課
取組内容 及び 成果と課題	<p>【取組内容】 学校再配置の拠点校となる学校施設において、必要な施設整備を実施した。 ○新山小学校増改築工事(H30.4月開校 しんざん小学校)※丹波小・新山小再配置による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存トイレ洋式化工事(H29.9月完成) ・増築棟(鉄筋コンクリート造2階建)工事(H30.3月完成) <ul style="list-style-type: none"> 1階 普通教室1室 トイレ 2階 図書室 トイレ 職員駐車場整備 <p>【成果】 トイレ洋式化により教育環境を改善、しんざん小開校にむけ児童の学習環境を整備した。</p>			

取組事業名	10 義務教育施設環境整備事業(再編交付金活用事業)(H27～H28)	終了	担当課	教育総務課
取組内容 及び 成果と課題	<p>【取組内容】 ○普通教室等の空調化工事を実施した。 H27年度 大宮中、網野中、丹後中、弥栄中 ※峰山中・久美浜中はH26年度に整備済 H28年度 大宮南小、弥栄小、高龍小、かぶと山小 ※29年度からは施設整備事業で実施</p> <p>○小中学校非構造部材落下防止工事を実施した。(対象:14校 体育館やランチルームなどの大規模空間において、天井材や、照明器具の非構造部材の落下防止措置を施す) H27年度 2校(峰山小、網野北小) H28年度 12校(いさなご、長岡、大宮第一、大宮南、網野北、網野南、島津、宇川、豊栄、弥栄小、弥栄中、久美浜中)</p> <p>【成果】 良好な教育環境を整えるとともに、大規模空間における安全確保を図った。 (中学校普通教室空調化 整備済、 大規模空間における非構造部材耐震対策 整備済)</p>			

取組事業名	11 小学校施設耐震化事業(H27)	終了	担当課	教育総務課
取組内容 及び 成果と課題	<p>【取組内容】 吉原小学校(現いさなご小学校)校舎棟耐震補強工事を実施した。</p> <p>【成果】 本工事をもって、学校施設耐震化計画による小中学校の耐震化が完了し、施設の安全性が向上した。</p>			

取組事業名	12 小・中学校情報教育環境整備事業(基金事業)【再編交付金活用事業】(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○平成26年度に整備した全小中学校27校(小学校20校、中学校7校)の情報教室パソコン等について、平成27年度分のリース料を支出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン(Windows8.1)798台 ・サーバー28台 ・プリンタ35台 ・授業支援システム27式 ・学習用統合ソフト20式 <p>【成果】 全小中学校の情報教室パソコン等の更新整備を行い、情報教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>【課題】 新学習指導要領に対応した学校のICT環境水準の維持・向上を図るため、計画的な機器の更新や整備を進める必要がある。</p>			

取組事業名	13 小学校施設改修事業(H27～)	継続	担当課	教育総務課																
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、必要な施設の改修を実施している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>島津下水道接続等工事</td> <td>久美浜小給食棟屋上防水改修工事</td> <td>普通教室空調化工事(8校)</td> <td>普通教室等空調化工事(3校)</td> </tr> <tr> <td>豊栄小廊下等照明増設工事</td> <td>大宮第一小放送設備改修工事</td> <td>いさなご下水道接続等工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他老朽化等による工事 45件</td> <td>その他老朽化等による工事 21件</td> <td>その他老朽化等による工事 23件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○空調化工事 29年度 峰山小、いさなご小、新山小、網野北小、網野南小、島津小、間人小、久美浜小 30年度 長岡小、橋小、吉野小</p> <p>【成果】 良好な教育環境を整えることができた(小学校普通教室等空調化は、整備済み)</p> <p>【課題】 学校施設の老朽化が進む中、個々の学校施設の現状を把握し、計画的・効率的な改修を実施する必要がある。</p>				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	島津下水道接続等工事	久美浜小給食棟屋上防水改修工事	普通教室空調化工事(8校)	普通教室等空調化工事(3校)	豊栄小廊下等照明増設工事	大宮第一小放送設備改修工事	いさなご下水道接続等工事		その他老朽化等による工事 45件	その他老朽化等による工事 21件	その他老朽化等による工事 23件	
平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度																	
島津下水道接続等工事	久美浜小給食棟屋上防水改修工事	普通教室空調化工事(8校)	普通教室等空調化工事(3校)																	
豊栄小廊下等照明増設工事	大宮第一小放送設備改修工事	いさなご下水道接続等工事																		
その他老朽化等による工事 45件	その他老朽化等による工事 21件	その他老朽化等による工事 23件																		

取組事業名	14 中学校施設改修事業(H27～)	継続	担当課	教育総務課												
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、必要な施設の改修を実施している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮中体育館屋上防水工事</td> <td>峰山中放送設備改修工事</td> <td>弥栄x中消防設備改修工事</td> </tr> <tr> <td>丹後中受水槽補修工事</td> <td>大宮中グラウンド施設移設工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他老朽化等による工事 10件</td> <td>その他老朽化等による工事 9件</td> <td>その他老朽化等による工事 13件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 良好な教育環境を整えることができた。</p> <p>【課題】 学校施設の老朽化が進む中、個々の学校施設の現状を把握し、計画的・効率的な改修を実施する必要がある。</p>				平成27年度	平成28年度	平成29年度	大宮中体育館屋上防水工事	峰山中放送設備改修工事	弥栄x中消防設備改修工事	丹後中受水槽補修工事	大宮中グラウンド施設移設工事		その他老朽化等による工事 10件	その他老朽化等による工事 9件	その他老朽化等による工事 13件
平成27年度	平成28年度	平成29年度														
大宮中体育館屋上防水工事	峰山中放送設備改修工事	弥栄x中消防設備改修工事														
丹後中受水槽補修工事	大宮中グラウンド施設移設工事															
その他老朽化等による工事 10件	その他老朽化等による工事 9件	その他老朽化等による工事 13件														

取組事業名	15 小学校施設管理事業・中学校施設管理事業(H27～)	継続	担当課	教育総務課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 学校運営上必要な施設等修繕、各種検査、保守管理委託等実施している。</p> <p>【成果】 施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。</p> <p>【課題】 老朽化した施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切な維持管理が必要である。</p>			

取組事業名	16 小学校管理運営事業・中学校管理運営事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○小中学校の運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。</p> <p>【成果】 ○教育環境の整備や維持管理など、児童生徒が安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小中学校における円滑な教育活動を実施することができた。</p> <p>【課題】 ○小中学校における円滑な教育活動を実施するため、より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。</p>			

取組事業名	17 小学校事務補助経費・中学校事務補助経費(H27～)	改善・効率化	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うため、学校事務職員の複数配置を要する小中学校に事務職員を配置し、学校事務を支援している。</p> <p>・配置校：大宮第一小、中学校 峰山中・大宮中・久美浜中</p> <p>【成果】 学校事務を支援することにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。</p> <p>【課題】 府費負担事務職員の増員を引き続き求めていく必要がある。</p>			

取組事業名	18 網野給食センター管理運営事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○児童生徒の心身の健全な発達に寄与するため、網野幼稚園、網野北小・網野南小・島津小・橘小、網野中学校に栄養バランスの取れた給食を提供している。</p> <p>【成果】 ○網野町域の幼稚園、小中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供することができた。</p> <p>【課題】 ○安心・安全な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。</p>			

取組事業名	19 小学校給食管理運営事業・中学校給食管理運営事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスの取れた給食を提供している。</p> <p>・給食調理業務の状況(平成29年度):小学校 委託 14校、直営校 1校 中学校 委託 2校、直営校 3校</p> <p>【成果】 給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。</p> <p>【課題】 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供する必要がある。 ○安心・安全な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。</p>			

取組事業名	20 学校給食一般経費(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○学校給食全般における衛生管理の徹底を図るとともに、給食献立の研究を通じ、衛生管理と栄養面での充実や食育の推進を図っている。</p> <p>【成果】 学校給食全般における衛生管理の徹底及び給食献立の研究を進めることで、衛生管理と栄養面での充実につながった。</p> <p>【課題】 給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全・衛生教育を徹底するとともに、各種検査の充実を図り、より安心・安全な学校給食を継続して実施していく必要がある。</p>			

施策の方向性	3. 個に応じた支援体制の充実	
	<p>○ 発達障害等を含む障害のある子ども一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな支援を行うため、学校園と保護者、行政、医療及び関係機関等が広く連携し、乳幼児期から青年期までを見通した特別支援教育を進めます。</p> <p>○ 外国語を母語とするなど日本語の習得が十分ではない児童生徒に対し、スクールサポーターを配置するなど個別に日本語支援を行う体制を整備します。</p>	

取組事業名	21 小学校スクールサポーター等設置事業・中学校スクールサポーター等設置事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課																																															
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】</p> <p>○スクールサポーターを配置し、児童生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施している。</p>																																																		
	<p>(スクールサポーター配置状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>29</td> <td>6</td> <td>27</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>心の教室相談員</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>学校図書館支援員(兼務)</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51</td> <td>27</td> <td>49</td> <td>30</td> <td>48</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】</p> <p>○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。</p> <p>○各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>児童生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。</p>					平成27年度		平成28年度		平成29年度		小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	介護	30	5	29	6	27	6	講師	0	10	0	12	1	12	心の教室相談員	1	6	1	6	1	6	学校図書館支援員(兼務)	20	6	19	6	19	6	計	51	27	49	30	48
	平成27年度		平成28年度			平成29年度																																													
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校																																													
介護	30	5	29	6	27	6																																													
講師	0	10	0	12	1	12																																													
心の教室相談員	1	6	1	6	1	6																																													
学校図書館支援員(兼務)	20	6	19	6	19	6																																													
計	51	27	49	30	48	30																																													

施策の方向性	4. ボランティアによる学習支援の推進	
	<p>○ 市民のボランティア意識を高め、自らの知識や学習で培った技術などを学校で、児童に紹介する機会づくりを進めます。</p> <p>○ 市民ボランティアが、地域の中で、子どもたちの活動を支える環境づくりを進めます。</p>	

取組事業名	22 学校支援地域本部事業(H27～)(現 地域学校協働本部事業 H30～)《再掲》	継続	担当課	生涯学習課											
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】</p> <p>学校からの要請に適した登録ボランティアを地域コーディネーターがマッチングして、学校現場(幼稚園、小・中学校)に派遣し、学習支援やクラブ活動支援を積極的に行った。</p> <p>○地域コーディネーターの配置 6人(各地域公民館内)</p>														
	<p><ボランティアの状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティア登録人数</td> <td>512人</td> <td>546人</td> <td>578人</td> </tr> <tr> <td>派遣したボランティア人数</td> <td>12,151人</td> <td>14,636人</td> <td>16,623人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】</p> <p>幅広い地域住民の参加により、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、地域全体で未来を担う子供たちの学びや成長を支え、学習支援活動や多世代交流に繋がっている。また、高齢者の生きがいづくりにも繋がっている。</p> <p>【課題】</p> <p>地域ボランティアについては、基本住所地の学校へ派遣しているが、支援活動によっては、指導者が不足するため、地域間の交流を図っているが、学校のニーズに応じた地域ボランティアの確保が必要。</p>					H27年度	H28年度	H29年度	ボランティア登録人数	512人	546人	578人	派遣したボランティア人数	12,151人	14,636人
	H27年度	H28年度	H29年度												
ボランティア登録人数	512人	546人	578人												
派遣したボランティア人数	12,151人	14,636人	16,623人												

【主な目標指標の推移と成果・今後の課題】

目標指標	単位	計画作成時 (H25年度)	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末	目標値 (H36)
市立小学校の耐震化	%	88.5	100	100	100	100	100
市立中学校の耐震化	%	93.5	100	100	100	100	100
非構造部材の耐震対策	%	0(調査中)	14	100	100	100	100
学校支援ボランティア登録者数	人	427	512	546	578		500

これまでの成果と今後の課題

《市立小学校の耐震化》

【成果】

京丹後市学校施設耐震化計画による小学校の耐震化は平成27年度をもって完了した。

《市立中学校の耐震化》

【成果】

京丹後市学校施設耐震化計画による中学校の耐震化は平成26年度をもって完了した。

《非構造部材の耐震対策》

【成果】

国が指導する大規模空間(体育館やランチルームなど200㎡以上の空間を有する箇所等)の非構造部材耐震対策は、平成28年度をもって完了した。

《学校支援ボランティア登録者数》

【成果】

ボランティア登録者数は目標数値を上まわっている。

【課題】

目標数値以上のボランティア登録者数だが、高齢化が進んでいるため、過去の登録者について整理する必要がある。

京丹後市教育振興計画

H27年度～H29年度 主な取組み状況のまとめ

重点目標	4 豊かな人間性・社会性を育みます
基本の方針	<p>学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。</p> <p>また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。</p>

施策の方向性	<p>1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。 ○ 生命を大切にする心や他人を尊重する心などを育むとともに、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。 ○ 地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。 ○ 各中学校区において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取り組みを協働して進めます。 ○ 情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や学校支援ボランティア等と連携し、系統的かつ一貫性のある指導体制を整備します。
--------	---

取組事業名	1 小学校教育推進活動実践事業・中学校教育推進活動実践事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課						
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、児童生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">平成27年度</td> <td>もうすぐ1年生体験入学推進事業(弥栄小)、KYO発見 仕事・文化体験事業(全校) サイエンス・パートナーシップ校(島津小) 法やルールに関する教育研究指定事業(久美浜中) KYO発見 仕事・文化体験事業(全校)、和装教育推進事業(峰山・大宮・網野・丹後中)</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>もうすぐ1年生体験入学推進事業(弥栄小)、KYO発見 仕事・文化体験事業(全校) サイエンス・パートナーシップ校(網野北小) 法やルールに関する教育研究指定事業(久美浜中校区) KYO発見 仕事・文化体験事業(全校)、和装教育推進事業(全校)</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>もうすぐ1年生体験入学推進事業(かぶと山小)、KYO発見 仕事・文化体験事業(全校) サイエンス・パートナーシップ校(久美浜小)、学力向上システム開発校(長岡小) 法やルールに関する教育研究指定事業(久美浜中校区) KYO発見 仕事・文化体験事業(全校)、和装教育推進事業(全校)</td> </tr> </table> <p>【成果】 ○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童生徒の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。</p> <p>【課題】 ○児童生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。</p>				平成27年度	もうすぐ1年生体験入学推進事業(弥栄小)、KYO発見 仕事・文化体験事業(全校) サイエンス・パートナーシップ校(島津小) 法やルールに関する教育研究指定事業(久美浜中) KYO発見 仕事・文化体験事業(全校)、和装教育推進事業(峰山・大宮・網野・丹後中)	平成28年度	もうすぐ1年生体験入学推進事業(弥栄小)、KYO発見 仕事・文化体験事業(全校) サイエンス・パートナーシップ校(網野北小) 法やルールに関する教育研究指定事業(久美浜中校区) KYO発見 仕事・文化体験事業(全校)、和装教育推進事業(全校)	平成29年度	もうすぐ1年生体験入学推進事業(かぶと山小)、KYO発見 仕事・文化体験事業(全校) サイエンス・パートナーシップ校(久美浜小)、学力向上システム開発校(長岡小) 法やルールに関する教育研究指定事業(久美浜中校区) KYO発見 仕事・文化体験事業(全校)、和装教育推進事業(全校)
平成27年度	もうすぐ1年生体験入学推進事業(弥栄小)、KYO発見 仕事・文化体験事業(全校) サイエンス・パートナーシップ校(島津小) 法やルールに関する教育研究指定事業(久美浜中) KYO発見 仕事・文化体験事業(全校)、和装教育推進事業(峰山・大宮・網野・丹後中)									
平成28年度	もうすぐ1年生体験入学推進事業(弥栄小)、KYO発見 仕事・文化体験事業(全校) サイエンス・パートナーシップ校(網野北小) 法やルールに関する教育研究指定事業(久美浜中校区) KYO発見 仕事・文化体験事業(全校)、和装教育推進事業(全校)									
平成29年度	もうすぐ1年生体験入学推進事業(かぶと山小)、KYO発見 仕事・文化体験事業(全校) サイエンス・パートナーシップ校(久美浜小)、学力向上システム開発校(長岡小) 法やルールに関する教育研究指定事業(久美浜中校区) KYO発見 仕事・文化体験事業(全校)、和装教育推進事業(全校)									

施策の 方向性	2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実	
	○子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や、内面理解の充実を図ります。	
	○学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。	
	○いじめの防止等に関する基本的な方針を基に、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し対策の総合的な実施を一層推進します。	
	○不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰を目指すため、教育支援センター「麦わら」の相談支援機能を高めます。	

取組事業名	2 いじめ防止啓発推進事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめの防止等の取組について、市民にいじめ問題について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るため、街頭キャンペーンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行っている。 ○学校、家庭、地域社会の連携強化を図るため、「いじめ防止講演会」を実施している。さらに、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行うため、いじめ相談専用電話を設置している。 ・インターネットモラル研修会(H27.8.24、H28.8.5、H29.8.8) ・いじめ防止講演会(H27.11.30、H28.11.15、H29.11.21) ・いじめ相談専用電話設置(24時間対応)</p> <p>【成果】 いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を図ることができた。</p> <p>【課題】 スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。</p>			

取組事業名	3 いじめ防止対策等運営事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。 ・いじめ問題対策連絡会議経費(委員数:21人、年1回開催) ・いじめ防止対策等専門委員会経費(委員数:5人、年2回開催)</p> <p>【成果】 専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめの防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。</p> <p>【課題】 いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。</p>			

取組事業名	4 指導主事設置事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○4人の非常勤指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性や見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応している。</p> <p>【成果】 学校経営、教育内容に対する専門的知識や豊かな経験をもとにした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑・多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。</p> <p>【課題】 社会環境や家庭環境、教育現場の諸課題がますます複雑・多様化しているため、指導主事と学校との連携を密にし組織的に対応する必要がある。</p>			

取組事業名	5 就学支援・教育相談事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課						
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○児童生徒の不登校や問題行動の状況を把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援している。</p> <table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>教育相談: 毎月2回、延べ81件、グループコンサルテーション(4グループ): 年5回</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>教育相談: 毎月2回、延べ99件、グループコンサルテーション(3グループ): 年5回</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>教育相談: 毎月2回、延べ47件、グループコンサルテーション(2グループ): 年5回</td> </tr> </table> <p>【成果】 専門性の高い臨床心理士による研修や教育相談を実施することによって、個別ケースの不登校の解消など、児童生徒の学校適応が促進された。</p> <p>【課題】 ○児童生徒の教育支援を適切に進める上で、発達検査の実施や分析について教員対象の研修を実施する必要がある。 ○不登校をさらに解消するため、教育相談を充実させる必要がある。</p>				平成27年度	教育相談: 毎月2回、延べ81件、グループコンサルテーション(4グループ): 年5回	平成28年度	教育相談: 毎月2回、延べ99件、グループコンサルテーション(3グループ): 年5回	平成29年度	教育相談: 毎月2回、延べ47件、グループコンサルテーション(2グループ): 年5回
	平成27年度	教育相談: 毎月2回、延べ81件、グループコンサルテーション(4グループ): 年5回								
平成28年度	教育相談: 毎月2回、延べ99件、グループコンサルテーション(3グループ): 年5回									
平成29年度	教育相談: 毎月2回、延べ47件、グループコンサルテーション(2グループ): 年5回									

取組事業名	6 教育支援センター管理運営事業(H27～)	継続	担当課	学校教育課																									
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○不登校等にある児童生徒に対し、相談及び適応指導を通じ、学校生活への復帰と社会的自立を支援するため、教育支援センター(麦わら)の指導員が学校訪問等を行うとともに、関係機関や学校と連携しながら支援を行っている。 ・指導員: 5人(支援は3人体制)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(通所・相談・来所の状況)</th> <th>(単位: 人・件)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通所者</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>相談延べ件数</td> <td>927</td> <td>1,006</td> <td>1,140</td> <td>3,073</td> </tr> <tr> <td>来所延べ人数</td> <td>1,828</td> <td>1,792</td> <td>1,741</td> <td>5,361</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 専門性の高い指導員による児童生徒等への学習・生活支援や、臨床心理士によるカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰、社会的自立を図ることができた。</p> <p>【課題】 教育支援センターの機能や役割について、児童生徒や保護者への更なる周知が必要である。</p>				(通所・相談・来所の状況)				(単位: 人・件)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	計	通所者	7	14	17	38	相談延べ件数	927	1,006	1,140	3,073	来所延べ人数	1,828	1,792	1,741	5,361
	(通所・相談・来所の状況)				(単位: 人・件)																								
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	計																									
通所者	7	14	17	38																									
相談延べ件数	927	1,006	1,140	3,073																									
来所延べ人数	1,828	1,792	1,741	5,361																									

取組事業名	7 小学校スクールサポーター等設置事業・中学校スクールサポーター等設置事業(H27～)《再掲》	継続	担当課	学校教育課																																																							
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○スクールサポーターを配置し、児童生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(スクールサポーター配置状況)</th> <th>(単位: 人)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>29</td> <td>6</td> <td>27</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>心の教室相談員</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>学校図書館支援員(兼務)</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51</td> <td>27</td> <td>49</td> <td>30</td> <td>48</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 ○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。</p> <p>【課題】 児童生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。</p>				(スクールサポーター配置状況)						(単位: 人)		平成27年度		平成28年度		平成29年度		小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	介護	30	5	29	6	27	6	講師	0	10	0	12	1	12	心の教室相談員	1	6	1	6	1	6	学校図書館支援員(兼務)	20	6	19	6	19	6	計	51	27	49	30	48	30
	(スクールサポーター配置状況)						(単位: 人)																																																				
	平成27年度		平成28年度		平成29年度																																																						
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校																																																					
介護	30	5	29	6	27	6																																																					
講師	0	10	0	12	1	12																																																					
心の教室相談員	1	6	1	6	1	6																																																					
学校図書館支援員(兼務)	20	6	19	6	19	6																																																					
計	51	27	49	30	48	30																																																					

施策の 方向性	3. 家庭・地域の教育力の向上
	○ 各中学校区の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。
	○ 家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にする気持ちなどを養う最も重要な役割を担うため、就学前から青年期までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。
	○ 子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、すべての町域における家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。
	○ 子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動を充実します。
	○ 地域における子どもたちの活動拠点を確保し、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行う地域子ども教室の拡充を進めます。
	○ 青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。

取組事業名	8 家庭こども相談室事業(H27～)	継続	担当課	子ども未来課														
取組内容 及び 成果と課題	【取組内容】 要保護児童対策地域協議会構成機関等と連携の下、児童虐待の未然防止、早期発見と適切な対応を行うとともに、支援の必要な児童や家庭(育児不安・養育力危惧・不登校等)について、相談援助活動・家庭訪問・同行支援等をおこなっている。																	
	家庭児童相談種別件数(実件数)																	
	相談種別	養育相談	保健相談	障害相談	非行相談	育成相談	その他											
		児 童 虐 待 相 談	そ の 他 の 相 談	保 健 相 談	肢 体 不 自 由 相 談	視 聴 覚 障 害 相 談	言 語 発 達 障 害 等 相 談	重 症 心 身 障 害 相 談	知 的 障 害 相 談	発 達 障 害 相 談	ぐ 犯 行 為 等 相 談	触 法 行 為 等 相 談	性 格 行 動 相 談	不 登 校 相 談	適 性 相 談	育 児 ・ し っ け 相 談	そ の 他 の 相 談	計
	H27	147	131	0	0	0	0	0	0	11	1	1	1	28	3	10	0	333
	H28	124	197	0	0	0	0	0	0	8	1	1	0	10	3	2	11	357
	H29	134	160	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	8	0	0	19	323
	【成果】 調整担当者研修・社会福祉主事資格認定講習を受講し、複雑・多様化する家庭児童問題に対応するための専門的知識の向上に努めるとともに、面談・家庭訪問・電話相談の実施、ケース検討会議の開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への支援や対応を行うことができた。																	
	【課題】 適切で迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を重ねるとともに、関係機関との連携をさらに深めていくことが必要である。																	

取組事業名	9 家庭教育事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び成果と課題	【取組内容】 各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動等を実施している。			
	○子育て講座の実施状況			
	講座の対象期	H27年度	H28年度	H29年度
	幼児期、就学前、学童期、思春期	13回、1,033人	7回、202人	13回、396人
	○家庭教育支援チーム事業			
各地域公民館に計6チーム、子育てサポーター計45人で構成し、地域や家庭の教育力の低下、子育ての孤立化により、悩みや不安を抱えている親に対して、地域課題に即した子育て支援活動を実施した。				
	内容	H27年度	H28年度	H29年度
	子育て交流会	25回、458人	28回、512人	29回、421人
	手紙で結ぶ家族の絆事業	2回、117人	4回、238人	3回、185人
	子育て広場	7回、179人	11回、326人	10回、221人
	高校生と赤ちゃんのふれあい事業	30回、676人	24回、328人	18回、201人
	計	64回、1,430人	67回、1,404人	60回、1,028人
	【成果】 子どもの発達段階に応じた学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に着けさせるための家庭の役割などの重要性について、認識を深めていただくことができた。			
	【課題】 関係機関で課題を共有し、より効果的な学習会等の実施を図る必要がある。			

取組事業名	10 放課後児童健全育成事業(H28～)	継続	担当課	子ども未来課											
取組内容及び成果と課題	【取組内容】 保護者の就労等により、授業終了後の放課後や長期休業期等の昼間に家庭での見守りが受けられない小学校に就学している児童に対し、小学校の余裕教室等を利用して、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図っている。														
	利用状況														
		年間開設日数	年間平均児童数	峰山	長岡	いさご	大宮	口大野①	口大野②	網野南	網野北	丹後	弥栄	久美浜①	久美浜②
	平成27年度	290日	370人	52人	26人	27人	47人	60人	-	38人	30人	16人	30人	44人	-
	平成28年度	290日	438人	60人	23人	35人	56人	44人	30人	36人	28人	31人	31人	64人	-
平成29年度	282日	413人	49人	17人	42人	52人	45人	26人	32人	33人	29人	26人	38人	24人	
	【成果】 利用者数が増加傾向にある中、久美浜では1クラスを増やすなど待機児童ゼロを継続し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援した。														
	【課題】 年々増加傾向にある利用者に対応するため、小学校の空き教室の活用など施設拡充を検討する必要がある。														

取組事業名	11 子ども放課後対策推進事業(H27～)	継続	担当課	子ども未来課		
取組内容及び成果と課題	【取組内容】 放課後等に小学校の余裕教室等を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、長期休業期を除き、概ね週に1回、事業を実施している。					
	利用状況(延べ人数)					
			平成28年度		平成29年度	
			児童	支援員	児童	支援員
	網野北小学校区放課後子ども教室		327人	256人	512人	328人
	網野南小学校区放課後子ども教室		849人	268人	1,563人	377人
実施日数		25日		40日		
		事業開始:平成28年9月				
【成果】 子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)として放課後子ども教室を開設しており、地域住民の協力を得て運営しており、支援員によって様々な体験活動を実施することができた。						
【課題】 子ども教室の運営は地域住民の協力を得て実施することになっており、スタッフの確保が課題である。						

取組事業名	12 青少年教育事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び成果と課題	【取組内容】 将来を担う青少年の健やかな成長を支援するため、体験活動やさまざまな地域活動への参加を促進している。			
	○網野町ウィークエンド事業(昔の遊び体験、ジオパーク自然学習、スケート体験他) ○丹後町青少年少女意見発表大会 ○夏休み子どもキャンプ ○京都工芸繊維大学と連携した理科わくわく教室 ○市青少年健全育成会、青少年少女児童合唱団(4団体)、地域子ども教室(6団体)への補助金交付			
	【成果】 市青少年健全育成会と連携して実施したキャンプなど、子ども達の健やかな成長を支援する体験活動を行うことができた。			
	【課題】 市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的な青少年活動を行う必要がある。			

施策の方向性	4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成
	<p>○ 子どもが生涯にわたって芸術や自然を愛する心や豊かな感性を育むための体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。</p> <p>○ 学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。</p>

取組事業名	文化芸術による子供の巡回事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課																												
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 小・中学校において、一流の文化芸術団体による巡回公演(歌舞伎、ミュージカル、演劇、児童劇など)を行い、文化の担い手となる子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図った。</p> <p>○実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>4校</td> <td>682人</td> <td>4校</td> <td>691人</td> <td>3校</td> <td>414人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>2校</td> <td>362人</td> <td>2校</td> <td>490人</td> <td>2校</td> <td>613人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6校</td> <td>1044人</td> <td>6校</td> <td>1181人</td> <td>5校</td> <td>1027人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 地理的状况によりなかなか経験出来ない本物の舞台芸術に触れることで、文化芸術に対する感性を深めることが出来た。また、鑑賞の態度・エチケットについても学ぶ良い機会となった。</p> <p>【課題】 事業実施(申請)校に偏りが見られることから、より多くの学校で実施出来るよう啓発する必要がある。</p>					平成27年度		平成28年度		平成29年度		小学校	4校	682人	4校	691人	3校	414人	中学校	2校	362人	2校	490人	2校	613人	計	6校	1044人	6校	1181人	5校	1027人
	平成27年度		平成28年度		平成29年度																											
小学校	4校	682人	4校	691人	3校	414人																										
中学校	2校	362人	2校	490人	2校	613人																										
計	6校	1044人	6校	1181人	5校	1027人																										

【主な目標指標の推移と成果・今後の課題】

目標指標	単位	計画作成時 (H25年度)	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末	目標値 (H36)
不登校児童の発生率<小学校>	—	5人/0.16%	0.28%	0.37%	0.31%		減少させる
不登校生徒の発生率<中学校>	—	47人 /2.49%	1.91%	2.35%	2.75%		減少させる
いじめの認知件数/発生率<小学校>	—	386件 /12.7%	405件 14.3%	318件 11.7%	293件 11.2%		減少させる
いじめの認知件数/発生率<中学校>	—	189件/10.2%	27件 2.4%	22件 2.1%	9件 2.1%		減少させる
認知されたいじめの年度内解消率<小学校>	—	357件 /92.5%	100%	100%	95.9 (いじめの解消 要件が定義され たため、平成29 年度第2回調査 の追跡調査結果 を記載)		100%
認知されたいじめの年度内解消率<中学校>	—	181件 /95.8%	100%	100%	100 (いじめの解消 要件が定義され たため、平成29 年度第2回調査 の追跡調査結果 を記載)		100%
いじめはいけないことだという意識がある児童の割合<小学校>	%	97.0 「全国学力・学習状況 調査」児童生徒質問 用紙 小6	98.0	99.1	98.7		増加させる
いじめはいけないことだという意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.9 「全国学力・学習状況 調査」児童生徒質問 用紙 中3	91.3	89.7	91.4		増加させる
学校のきまりや規則を守る意識がある児童の割合<小学校>	%	93.8 「全国学力・学習状況 調査」児童生徒質問 用紙 小6	93.2	94.0	96.0		増加させる
学校のきまりや規則を守る意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.8 「全国学力・学習状況 調査」児童生徒質問 用紙 中3	96.6	95.8	98.1		増加させる
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童の割合<小学校>	%	94.4 「全国学力・学習状況 調査」児童生徒質問 用紙 小6	94.9	93.6	94.6 (全国学力・学習 状況調査の児童 生徒質問項目か ら外れたため京 都府学力テスト 質問項目による)		増加させる
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う生徒の割合<中学校>	%	95.2 「全国学力・学習状況 調査」児童生徒質問 用紙 中3	94.0	94.0	95.3 (全国学力・学習 状況調査の児童 生徒質問項目か ら外れたため京 都府学力テスト 質問項目による)		増加させる
人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合<小学校>	%	94.0 「全国学力・学習状況 調査」児童生徒質問 用紙 小6	94.9	95.4	94.9		増加させる
人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合<中学校>	%	93.2 「全国学力・学習状況 調査」児童生徒質問 用紙 中3	94.0	93.6	93.5		増加させる

これまでの成果と今後の課題

《不登校児童生徒の発生率》

【成果】

不登校児童生徒の発生率は、小中一貫教育の推進による各校園での未然防止を重点とした取組や確実な情報の共有等によつて、不登校解消に一定の成果は上がっている。

【課題】

不登校の出現率が増加傾向にあり、特に中学校では、前年度比0.4%の増加となっており、出現率を減少させるための効果的な未然防止の取組が必要である。

《いじめの認知件数/発生率》

【成果】

いじめの認知件数は、児童生徒への日常の指導、実態把握や情報共有、小中一貫教育における各学園の取組等によって、小中学校とも減少傾向にある。

【課題】

小学校では、低学年の認知件数が多く特に1年生の認知件数が増加している。引き続き、些細な兆候も見逃さない組織的な対応を行うとともに、認知件数のみにとらわれず、より丁寧な指導を継続していく必要がある。

《認知されたいじめの年度内解消率》

【成果】

国のいじめの解消要件の定義にあわせて、平成29年度から京都府調査が見直されたため、認知されたいじめの年度内解消率は、第2回いじめ調査の認知事象に基づく追跡調査結果により算出した。各校では、学校いじめ防止基本方針に基づきいじめ調査等による実態把握や教職員の情報共有、組織的対応、丁寧な指導を行っている。

【課題】

引き続き体制強化を進めていく必要がある。

《いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合》

【成果】

いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や児童生徒への丁寧な指導により、小学校でやや低下したものの中学校では増加し、小中学校ともに高い水準にある。

【課題】

今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科はもとより学校の教育活動全体を通じた取組を進めていく必要がある。

《学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合》

【成果】

学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、小中学校ともに増加し、各校園におけるきめ細かな指導及び小中一貫教育による一貫性のある指導等によって、確実に規範意識が高まってきている状況が見られる。

【課題】

引き続き、小学校低学年からの規範意識の醸成についての系統的な指導を進めていく必要がある。

《人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合》

【成果】

人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともに増加し高い水準にある。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、人の気持ちを分かち行動したり、発言したりすることの重要性が確実に身に付いてきている。

【課題】

今後も個別の配慮児童生徒への丁寧な指導が必要である。

《人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合》

【成果】

人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともにやや減少したものの、小中学校ともに高い水準にある。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、社会貢献等への意識が確実に身に付いてきている。

【課題】

今後更に高めていくため、ボランティア活動による体験学習等の充実を図る必要がある。

京丹後市教育振興計画

H27年度～H29年度 主な取組み状況のまとめ

重点目標	5 生涯にわたる豊かな学びを支援します
基本の方針	まちづくりや福祉等多様な分野の関係部局、また学校園、保護者、地域住民、企業、大学等の多様な主体との協働により、住民相互のネットワークづくりを進め、子どもから大人まで、だれもが生涯にわたり学び続けることができ、その成果を地域社会に還元することのできる環境づくりを進めます。

施策の方向性	1. 生涯学習の体制づくり
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民の多様な学習ニーズや地域課題に対応するため、学習内容の評価・検証や情報提供等を進めます。 ○ 市民の身近な学習及び交流の拠点である中央公民館及び地域公民館の活動の充実を図るとともに、地区公民館との連携を強化することによって、地域での公民館活動を支援します。 ○ 市民の自主的かつ自発的な学習の場である図書館の機能の充実と利用の促進を図ります。

取組事業名	1 社会教育委員設置事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 社会教育法の規程に基づき設置される社会教育委員会議を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議するとともに、委員の研修機会を提供している。 ○委員数 15人</p> <p>【成果】 社会教育事業及び地域独自の課題や公共の課題への対応などについて審議し、市民の意見を反映した社会教育活動を推進することができた。</p> <p>【課題】 ○中央公民館及び地域公民館の体制、活動の在り方について継続して審議を行う必要がある。 ○引き続き市民ニーズを把握し、市民活動への積極的な貢献とコミュニティづくりへの関わりを深めていく必要がある。</p>			

取組事業名	2 社会教育指導員設置事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 社会教育課及び各地域公民館に社会教育指導員を設置し、社会教育事業を計画・立案及び運営や、社会教育関係団体への指導・助言など団体の育成・支援を行っている。 ○指導員数 9人 ○配置場所 社会教育課:1人、地域公民館:8人(峰山、網野:2人、他:1人)</p> <p>【成果】 各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行うことができ、住民のニーズに応えた社会教育活動を推進することができた。</p> <p>【課題】 ○今後も住民のニーズの的確な把握に努め、社会教育活動を支援していく必要がある。 ○中央公民館及び地域公民館の体制の在り方とあわせて、より効果的な指導員の設置について検討する必要がある。</p>			

取組事業名	3 成人式開催事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課												
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 20歳になった新成人を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますために成人式を行っている。 ○内容 アトラクション、記念式典、二十歳の主張等</p> <p><出席状況></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出席者数</td> <td>526人</td> <td>552人</td> <td>491人</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>76.2%</td> <td>77.6%</td> <td>82.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 新成人とその親が「二十歳の主張」「新成人に贈るメッセージ」を発表する中で、改めてお互いに感謝し、自覚、激励する機会となり、新成人にとって有意義な式典となった。</p> <p>【課題】 引き続き、より多くの新成人に参加してもらえるよう内容や周知方法を検討する必要がある。 民法の改正に伴い、18歳以上を対象とするなど、2023年以降の成人式の在り方を検討する必要がある。</p>					H27年度	H28年度	H29年度	出席者数	526人	552人	491人	出席率	76.2%	77.6%	82.2%
	H27年度	H28年度	H29年度													
出席者数	526人	552人	491人													
出席率	76.2%	77.6%	82.2%													

取組事業名	4 青少年教育事業(H27～)《再掲》	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 将来を担う青少年の健やかな成長を支援するため、体験活動やさまざまな地域活動への参加を促進している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○網野町ウィークエンド事業(昔の遊び体験、ジオパーク自然学習、スケート体験他) ○丹後町少年少女意見発表大会 ○夏休み子どもキャンプ ○京都工芸繊維大学と連携した理科わくわく教室 ○市青少年健全育成会、少年少女児童合唱団(4団体)、地域子ども教室(6団体)への補助金交付 <p>【成果】 市青少年健全育成会と連携して実施したキャンプなど、子ども達の健やかな成長を支援する体験活動を行うことができた。</p> <p>【課題】 市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的な青少年活動を行う必要がある。</p>			

取組事業名	5 高齢者教育事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課								
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するため、高齢者大学の一般講座・趣味講座を6学園で実施している。なお、平成27・28年度には、福知山公立大学の共催、京都府北部地域・大学連携機構の協力を得て、高齢者大学院を実施した。</p> <p>○実施数 一般講座:5学園年7回、網野学園年9回／趣味講座:56講座 ※H29年度 大学院:年6回 ※H27.28年度のみ</p> <p><受講登録者数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講登録者数</td> <td>968人</td> <td>916人</td> <td>897人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 高齢者に「仲間づくり・生きがいづくり・健康づくり」の機会を提供するとともに、趣味講座での福祉施設への訪問や地元のイベントへの参加など、社会参加の促進に寄与することができた。</p> <p>【課題】 ○さらなる高齢者の社会参加の促進と、学習の成果を地域活動等に活かす取組を推進する必要がある。 ○参加者数が減少傾向にあり、学習ニーズの把握とともに、講座内容や広報手法など検討する必要がある。</p>					H27年度	H28年度	H29年度	受講登録者数	968人	916人	897人
	H27年度	H28年度	H29年度									
受講登録者数	968人	916人	897人									

取組事業名	6 中央公民館管理運営事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課																								
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 公民館職員を対象とした研修会の実施、地区公民館活動交付金の交付などにより、地区公民館活動の支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館設置場所 教育委員会社会教育課内 ○同職員体制 館長1(社会教育課長兼務)、主事1(社会教育課職員兼務) <p><地区公民館活動交付金の状況> ※H29年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>地区公民館数</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町公民館連絡協議会</td> <td>8館</td> <td>8,187千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町公民館連絡協議会</td> <td>15館</td> <td>6,453千円</td> </tr> <tr> <td>網野町公民館連絡協議会</td> <td>13館</td> <td>8,724千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町公民館連絡協議会</td> <td>5館</td> <td>4,131千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町公民館連絡協議会</td> <td>5館</td> <td>3,481千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町公民館連絡協議会</td> <td>8館</td> <td>6,829千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>53館</td> <td>37,805千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 ○地区公民館活動の支援を通じて、住民のコミュニティ活動の推進を図るとともに、学習及び交流機会の提供など、地域づくりの拠点としての機能を発揮することに寄与した。 ○各町公民館連絡協議会の取組により、研修や地区公民館同士の情報交流が行われ、それぞれの事業の活性化を図ることができた。</p> <p>【課題】 中央公民館体制の在り方について、引き続き、関係機関等との協議を進める必要がある。 あわせて、地区公民館活動の組織体制、活動内容、支援等の在り方についても検討が必要である。</p>				内訳	地区公民館数	交付金額	峰山町公民館連絡協議会	8館	8,187千円	大宮町公民館連絡協議会	15館	6,453千円	網野町公民館連絡協議会	13館	8,724千円	丹後町公民館連絡協議会	5館	4,131千円	弥栄町公民館連絡協議会	5館	3,481千円	久美浜町公民館連絡協議会	8館	6,829千円	計	53館	37,805千円
内訳	地区公民館数	交付金額																										
峰山町公民館連絡協議会	8館	8,187千円																										
大宮町公民館連絡協議会	15館	6,453千円																										
網野町公民館連絡協議会	13館	8,724千円																										
丹後町公民館連絡協議会	5館	4,131千円																										
弥栄町公民館連絡協議会	5館	3,481千円																										
久美浜町公民館連絡協議会	8館	6,829千円																										
計	53館	37,805千円																										

取組事業名	7 峰山・大宮・網野・丹後・弥栄・久美浜地域公民館管理運営事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課																																									
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している各地域公民館を管理運営し、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図っている。 ○地域公民館の職員体制 館長1名、主事1名、社会教育指導員1名(峰山、網野は2名) <取組> ○峰山地域公民館の耐震診断(H28年度) ○社会教育事業の実施 ○地域公民館施設(峰山、丹後、弥栄)の維持管理 <公民館利用状況> ※「公民館」としての設置施設は下記3館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H27年度</th> <th colspan="2">H28年度</th> <th colspan="2">H29年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>3,327</td> <td>52,302</td> <td>3,212</td> <td>46,720</td> <td>3,211</td> <td>47,323</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>992</td> <td>19,698</td> <td>836</td> <td>19,394</td> <td>823</td> <td>16,844</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>1,420</td> <td>34,790</td> <td>1,180</td> <td>32,797</td> <td>1,153</td> <td>22,652</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,739</td> <td>106,790</td> <td>5,228</td> <td>98,911</td> <td>5,187</td> <td>86,819</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 ○地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○施設の維持管理、必要な修繕等を行うことで、適正な施設管理に努めた。</p> <p>【課題】 ○地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫や充実を努め、参加者の増加を図る必要がある。 ○施設の老朽化が進行するなか、適正な維持管理に努める必要がある。 ○地域公民館の組織体制、活動内容等の在り方について検討が必要である。</p>					H27年度		H28年度		H29年度		回数	人数	回数	人数	回数	人数	峰山	3,327	52,302	3,212	46,720	3,211	47,323	丹後	992	19,698	836	19,394	823	16,844	弥栄	1,420	34,790	1,180	32,797	1,153	22,652	合計	5,739	106,790	5,228	98,911	5,187	86,819
	H27年度		H28年度			H29年度																																							
	回数	人数	回数	人数	回数	人数																																							
峰山	3,327	52,302	3,212	46,720	3,211	47,323																																							
丹後	992	19,698	836	19,394	823	16,844																																							
弥栄	1,420	34,790	1,180	32,797	1,153	22,652																																							
合計	5,739	106,790	5,228	98,911	5,187	86,819																																							

取組事業名	8 公民館一般経費(H27～)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 地域公民館長の配置、地域公民館の事業に必要な事務等を実施している。</p> <p>【成果】 地域公民館の安定的な運営体制と公民館職員の研修機会を確保することができた。</p> <p>【課題】 地域公民館の組織体制、活動内容等の在り方について検討が必要である。</p>			

取組事業名	9 図書館管理運営事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課																
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 生涯学習の拠点として資料の収集、整理、保存、提供を行うことで市民の読書、調査研究等の要求に応えらるとともに、各種行事等の実施により幅広い年代の利用者拡大を図っている。</p> <p><利用状況等></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書数※年度末時点</td> <td>286,313点</td> <td>293,434点</td> <td>299,744点</td> </tr> <tr> <td>年間貸出冊数</td> <td>394,994冊</td> <td>367,575冊</td> <td>349,994冊</td> </tr> <tr> <td>年間貸出者数</td> <td>74,692人</td> <td>70,386人</td> <td>67,301人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 6館(室)により市内全域にサービスを行い、市民ニーズを反映した、利用しやすく親しみの持てる図書館に近づけるよう、小中学校との連携、講座の開催など、図書を利用した多様な学習機会の提供を図った。</p> <p>【課題】 ○未利用者などへの図書館活動の周知に努め、利用拡大を図る必要がある。 ○平成30年2月に図書館協議会から受けた「今後の京丹後市立図書館のあり方について」の答申に基づき、図書館整備の在り方について検討する必要がある。</p>					H27年度	H28年度	H29年度	蔵書数※年度末時点	286,313点	293,434点	299,744点	年間貸出冊数	394,994冊	367,575冊	349,994冊	年間貸出者数	74,692人	70,386人	67,301人
	H27年度	H28年度	H29年度																	
蔵書数※年度末時点	286,313点	293,434点	299,744点																	
年間貸出冊数	394,994冊	367,575冊	349,994冊																	
年間貸出者数	74,692人	70,386人	67,301人																	

取組事業名	10 社会教育総務一般経費(H27～)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 社会教育事業を円滑に実施するための事務等を推進するとともに、京丹後市連合婦人会へ補助金を交付している。</p> <p>【成果】 ○社会教育関係職員の資質向上を図るための研修機会を確保することができた。 ○補助金交付により女性教育活動の充実に寄与した。</p> <p>【課題】 専門的知識を有する「社会教育主事有資格者」の継続的な配置が重要である。</p>			

2. 人権教育の推進	
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権啓発推進協議会の活動の充実を図るとともに、関係機関と連携しながら、人権に関する正しい理解と認識を高める活動を推進します。 ○ さまざまな人権問題について正しい理解と認識を深めるため、学校園、家庭及び地域など、身近な場での学習機会の充実と促進を図るとともに、関係機関・団体と連携し、職員及び指導者の資質向上を図るための学習機会の提供に努めます。

取組事業名	11 人権教育事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 人権に関する多様な課題について、身近で気軽に参加できる学習機会を設けるとともに、障害者の社会参加、交流を促進する研修会を実施している。 ○夏休み子ども映画会(年間2会場) ○人権教育研究京丹後市大会(年間1回) ○視覚・聴覚障害者交流研修会(年間各1回)</p> <p>【成果】 市民が人権問題について理解と認識を深める機会を提供することができた。</p> <p>【課題】 人権教育は重要であるが、参加者を集めることが難しい傾向にある。講師の選定や時代に合った興味関心を持たれるテーマを設定し、市内の各種団体や組織の連携を図るなど、更に多くの市民に人権について考えていただく機会を提供することが必要である。</p>			

3. 文化芸術活動の推進	
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民の豊かな心を育むため、丹後文化会館を拠点として、市民が優れた文化芸術に親しむ機会を充実します。 ○ 関係機関及び団体と連携し、地域の特色を活かした文化事業を行うとともに、市民の自発的かつ日常的な文化芸術活動を支援します。

取組事業名	12 芸術文化事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課																					
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 芸術・文化活動の推進を図るため、文化活動団体への支援を行い、市民が優れた芸術文化に触れる機会の提供及び市民による文化活動の充実に取り組んでいる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;">補助事業名等</th> <th style="width: 15%;">補助金額 年間:千円</th> <th style="width: 50%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都府丹後文化事業団運営補助金</td> <td style="text-align: center;">27,000</td> <td>映画上映やミュージカル、公演など多くの事業及び丹後文化会館の管理運営を実施。</td> </tr> <tr> <td>京丹後市文化協会活動費補助金</td> <td style="text-align: center;">3,500</td> <td>総合文化祭として「舞台芸能祭」や「総合作品展」の実施やサークル体験講座及び支部行事を多数実施。 ○会員数:166団体、2,216人 ※H29年度末</td> </tr> <tr> <td>丹後文化芸術祭実行委員会補助金</td> <td style="text-align: center;">1,300</td> <td>丹後2市2町の住民参加の文化事業として、舞台部門、展示部門、セミナーを実施</td> </tr> <tr> <td>小町ろまん短歌大会開催補助金</td> <td style="text-align: center;">250</td> <td>短歌大会(添削教室・記念講演・表彰式等)、外国人を対象とした短歌講座を実施。</td> </tr> <tr> <td>たんたん能in丹後開催補助金 ※H28年度のみ</td> <td style="text-align: center;">175</td> <td>日本伝統芸能の一つである「能公演」を実施。</td> </tr> <tr> <td>地域文化づくり事業委託料 ※H27年度のみ</td> <td style="text-align: center;">3,260</td> <td>丹後文化会館を拠点として活動する「文化の仕掛人」を雇用し、丹後地域ならではの文化・芸術活動の掘り起こし、文化力による地域活性化とまちづくりを進める事業を実施。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 子どもから大人まで、幅広い世代が優れた文化を鑑賞する機会の提供及び地域文化の普及・振興等を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。</p> <p>【課題】 ○市民ニーズを的確に把握した事業の推進、文化協会等各団体の更なる自立運営に向けて指導していく必要がある。 ○市の文化芸術振興計画の策定について、国や京都府の動向などを踏まえながら研究する必要がある。</p>				補助事業名等	補助金額 年間:千円	内容	京都府丹後文化事業団運営補助金	27,000	映画上映やミュージカル、公演など多くの事業及び丹後文化会館の管理運営を実施。	京丹後市文化協会活動費補助金	3,500	総合文化祭として「舞台芸能祭」や「総合作品展」の実施やサークル体験講座及び支部行事を多数実施。 ○会員数:166団体、2,216人 ※H29年度末	丹後文化芸術祭実行委員会補助金	1,300	丹後2市2町の住民参加の文化事業として、舞台部門、展示部門、セミナーを実施	小町ろまん短歌大会開催補助金	250	短歌大会(添削教室・記念講演・表彰式等)、外国人を対象とした短歌講座を実施。	たんたん能in丹後開催補助金 ※H28年度のみ	175	日本伝統芸能の一つである「能公演」を実施。	地域文化づくり事業委託料 ※H27年度のみ	3,260	丹後文化会館を拠点として活動する「文化の仕掛人」を雇用し、丹後地域ならではの文化・芸術活動の掘り起こし、文化力による地域活性化とまちづくりを進める事業を実施。
補助事業名等	補助金額 年間:千円	内容																							
京都府丹後文化事業団運営補助金	27,000	映画上映やミュージカル、公演など多くの事業及び丹後文化会館の管理運営を実施。																							
京丹後市文化協会活動費補助金	3,500	総合文化祭として「舞台芸能祭」や「総合作品展」の実施やサークル体験講座及び支部行事を多数実施。 ○会員数:166団体、2,216人 ※H29年度末																							
丹後文化芸術祭実行委員会補助金	1,300	丹後2市2町の住民参加の文化事業として、舞台部門、展示部門、セミナーを実施																							
小町ろまん短歌大会開催補助金	250	短歌大会(添削教室・記念講演・表彰式等)、外国人を対象とした短歌講座を実施。																							
たんたん能in丹後開催補助金 ※H28年度のみ	175	日本伝統芸能の一つである「能公演」を実施。																							
地域文化づくり事業委託料 ※H27年度のみ	3,260	丹後文化会館を拠点として活動する「文化の仕掛人」を雇用し、丹後地域ならではの文化・芸術活動の掘り起こし、文化力による地域活性化とまちづくりを進める事業を実施。																							

4. 社会教育施設の整備充実	
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館や図書館等をはじめとする社会教育施設の設備・機能の充実を図り、社会教育の実践活動を行う環境整備を進めます。 ○ 老朽化が進んでいる社会教育施設は、利用者の安全・安心に資するため、計画的な整備改修を検討します。

取組事業名	13 地区公民館管理運営事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 地域住民の学習及びコミュニティ活動の拠点として地区公民館を設置し、生活基盤を支える地区の活性化を目指した活動を支援している。(主には施設維持管理にかかる経費を支出)</p> <p>【成果】 利用者の利便確保のため、必要な修繕等を行うことにより、施設機能を維持・確保することができた。</p> <p>【課題】 網野町域の地区公民館について、地区集会施設の一部を公民館施設として占用し、市と地区との間で施設の維持管理経費の負担割合を設定して補助金等により支出しているが、他町域の地区公民館の状況も踏まえ、廃止等に向けた調整を図る必要がある。</p>			

取組事業名	14 峰山いさなご施設管理運営事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課																												
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 林業及び農山村地域の振興とあわせて、工芸品づくりやスポーツ活動による高齢者の介護予防、生きがいづくり及び健康づくりを推進し、生活文化の向上を図るため、峰山林業センター・いさなご工房・いさなごコートの管理運営を行っている。</p> <p style="text-align: center;">＜利用実績＞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">林業センター</th> <th colspan="2">いさなご工房</th> <th colspan="2">いさなごコート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27年度</td> <td>178回</td> <td>1,629人</td> <td>218回</td> <td>1,253人</td> <td>513回</td> <td>10,500人</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>208回</td> <td>3,016人</td> <td>242回</td> <td>1,353人</td> <td>489回</td> <td>8,229人</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>198回</td> <td>2,708人</td> <td>236回</td> <td>1,203人</td> <td>442回</td> <td>7,163人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 木工・陶芸の体験、教室及び貸出しを通して、市民の学習、スポーツ及び交流の機会を提供し、生きがいづくりや健康づくりの振興などに貢献することができた。</p> <p>【課題】 効率的・効果的な運営を図るため、公共施設見直し計画に基づき、運営方法の見直しについて早急に検討する必要がある。</p>					林業センター		いさなご工房		いさなごコート		H27年度	178回	1,629人	218回	1,253人	513回	10,500人	H28年度	208回	3,016人	242回	1,353人	489回	8,229人	H29年度	198回	2,708人	236回	1,203人	442回	7,163人
	林業センター		いさなご工房		いさなごコート																											
H27年度	178回	1,629人	218回	1,253人	513回	10,500人																										
H28年度	208回	3,016人	242回	1,353人	489回	8,229人																										
H29年度	198回	2,708人	236回	1,203人	442回	7,163人																										

取組事業名	15 マスターズヒレッジ管理運営事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課																																	
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 市民の交流及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図るため、大宮ふれあい工房(陶芸・染色体験施設等)・ふれあいスポーツ広場等の管理運営を行っている。</p> <p style="text-align: center;">＜利用実績＞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">大宮ふれあい工房</th> <th rowspan="2">ふれあいスポーツ広場</th> </tr> <tr> <th>展示室</th> <th>会議室</th> <th>陶芸体験</th> <th>染色体験</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27年度</td> <td>2,569人</td> <td>1,666人</td> <td>1,445人</td> <td>1,169人</td> <td>3,447人</td> <td>8,043人</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>3,876人</td> <td>1,331人</td> <td>1,251人</td> <td>1,257人</td> <td>2,875人</td> <td>7,983人</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>3,688人</td> <td>1,326人</td> <td>1,278人</td> <td>1,267人</td> <td>2,629人</td> <td>7,809人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 陶芸、染色実習室、展示、会議室及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、市民の生きがいづくり及び健康増進を図ることができた。</p> <p>【課題】 効率的・効果的な運営を図るため、公共施設見直し計画に基づき、運営方法の見直しについて早急に検討する必要がある。</p>					大宮ふれあい工房					ふれあいスポーツ広場	展示室	会議室	陶芸体験	染色体験	その他	H27年度	2,569人	1,666人	1,445人	1,169人	3,447人	8,043人	H28年度	3,876人	1,331人	1,251人	1,257人	2,875人	7,983人	H29年度	3,688人	1,326人	1,278人	1,267人	2,629人	7,809人
	大宮ふれあい工房					ふれあいスポーツ広場																															
	展示室	会議室	陶芸体験	染色体験	その他																																
H27年度	2,569人	1,666人	1,445人	1,169人	3,447人	8,043人																															
H28年度	3,876人	1,331人	1,251人	1,257人	2,875人	7,983人																															
H29年度	3,688人	1,326人	1,278人	1,267人	2,629人	7,809人																															

取組事業名	16 たちばな会館管理運営事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 地域の生涯学習活動・コミュニティ活動の拠点としての機能を確保するため、施設の維持管理を行うとともに、利用の促進を図っている。</p> <p>【成果】 適切な維持管理を図ることにより、施設を活用した学習活動・コミュニティ活動を促進することができた。</p> <p>【課題】 公共施設見直し計画に基づき検討している施設の管理方法の見直しについては、引き続き地元の意向を聞きながら進めていく必要がある。</p>			

取組事業名	17 網野教育会館管理運営事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 人権学習や、地域の生涯学習活動・コミュニティ活動の拠点としての機能を確保するため、施設の維持管理を行うとともに、利用の促進を図っている。</p> <p>【成果】 適切な維持管理を図ることにより、施設を活用した学習活動・コミュニティ活動を促進することができた。</p> <p>【課題】 公共施設見直し計画に基づき検討している施設の管理方法の見直しについては、引き続き地元の意向を聞きながら進めていく必要がある。</p>			

【主な目標指標の推移と成果・今後の課題】

目標指標	単位	計画作成時 (H25年度)	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末	目標値 (H36)
青少年の体験活動事業数	事業	42	50	55	54		60
趣味・教養講座数	事業	29	45	39	49		35
地域課題学習講座数	事業	2	6	10	10		10
高齢者大学の参加者数	人	789	968	916	897		1,000
人権学習会の参加者数	人	820	1,273	1371	1,430		1,200
図書館の年間貸出冊数(市民1人当たり)	冊	5.2	5.65	5.31	5.02		7.0
文化協会加盟サークル数	団体	170	170	163	166	170	200

これまでの成果と今後の課題

《青少年の体験活動事業数》

【成果】

生涯学習課及び各地域公民館で特色ある事業を企画し、実施していることや、京都府や府内大学など関係機関と連携し、事業を企画実施していることにより概ね事業数は横ばいである。

【課題】

今後も更に市内社会教育団体や学校、地域とより一層の連携・協力をしながら事業を行う体制づくりを構築する。

《趣味・教養講座数》

【成果】

住民のニーズを把握し、講座内容の見直しを図ることにより目標値を達成することができた。

【課題】

今後も各地域公民館で、より魅力的なコンテンツを積極的に構築し、講座の実施に活かせるような改善を推し進めていく。

《地域課題学習講座数》

【成果】

平成26年度に各地区公民館が条例設置公民館から自治公民館へ移行し、3年が経過。29年度においては地域活動の活性化を促した公民館活動を目指し、市及び町毎に設置された連絡協議会での研修会を実施し、地域の現状や課題を共有するなどの取り組みが行われた。

【課題】

地域や市民局等との連携を一層強化するなど、地域の課題をよりの確に把握し、課題解決を目指した事業をさらに推進する必要がある。

《高齢者大学の参加者数》

【成果】

一般講座参加者はほぼ横ばい。趣味講座は幼稚園や福祉施設への訪問や、作品展示など地域活動にも貢献している。受講生による参加呼びかけや町域間の交流などが進み、高齢者大学の運営は定着化している。

【課題】

参加者が減少しており、ニーズ把握と一部講座の見直しが必要。今後は受講生の自主性の促進やサークル化などに向けても取り組む必要がある。

《人権学習会の参加者数》

【成果】

人権学習への参加者数は、昨今の情勢を踏まえた内容を考慮した人権講演会や子ども映画会、視聴覚障害者研修会等を実施することで目標数値を達成できた。

【課題】

今後も、より一層他団体と連携し学習の質を向上させ、高水準の参加者数を確保する。

《図書の年間貸出冊数(市民1人当たり)》

【成果】

貸出数は減少したが、新たな事業を企画するなど多様な学習機会の提供に寄与した。

【課題】

講座等の開催、企画展示の実施により、図書館に関心を持っていただけるよう工夫をしたが、利用数として反映されておらず、減少の原因を探るとともに、今後も様々な工夫を凝らした広報啓発活動を継続していき、利用者数・貸出数にも繋がっていく図書館の姿を検討していく必要がある。

《文化協会加盟サークル数》

【成果】

各加盟団体が実施の教室や大会、市協会が実施の総合文化祭を通じて、市民のかたへ芸術鑑賞機会を提供出来た。

【課題】

今後も市民の文化力を高めることが出来るよう、加盟サークル数を増やせるよう協会を支援していく。

京丹後市教育振興計画

H27年度～H29年度 主な取組み状況のまとめ

重点目標	6 歴史文化を活用し、郷土への愛着と誇りを育みます
基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。

施策の方向性	<p>1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実</p> <p>○京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育の導入にあわせ、「丹後学」を積極的に展開します。特に、ジオパークに認定された地質遺産を活用したフィールド学習を、小学生を対象に実施します。</p> <p>○子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。</p> <p>○文化財セミナーや京丹後史博士育成講座等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図ります。</p>
--------	--

取組事業名	1 文化財保護啓発事業(H27～)	継続	担当課	文化財保護課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供している。</p> <p>○丹後の歴史・文化財を学び活用するための文化財セミナー(27年度5回、28年度5回、29年度2回)、京丹後史博士講座(各年度10回)の開催 ※目標指標参照 ○丹後・東海地方の文化交流調査事業として、調査、報告書(第1集2,000冊)の刊行、シンポジウムを京丹後市と名古屋市で開催 ○27年度丹後の文化財を一堂に集めた「日本のふるさと丹後展」を京都文化博物館で開催(12/5～1/17) ○昭和30年・40年代に発掘した平遺跡の出土遺物寄贈を受けた ○資料館企画展示の開催等</p> <p>【成果】 ○文化財セミナー等講座では、市ケーブルテレビでも放映し市民に広く情報提供することができた。 ○京丹後史博士育成講座の博士認定者は、3年間で新たに8名任命した。(合計65名) ○丹後・東海地方の文化交流調査事業のシンポジウムは、両地域での交流・啓発業が実施できた。(参加者:京丹市会場100名 名古屋市会場130名) ○「日本のふるさと大丹後展」は、重要文化財8件、府指定文化財15件を含む137件の資料展示を行った。(入館者:18479人)</p> <p>【課題】 文化財セミナー、京丹後史博士講座等の参加者が固定され、新規の若い層に拡大する必要がある。</p>			

取組事業名	2 丹後学の活用(社会教育)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 ○学校支援ボランティアによる活動支援 昔の暮らし学習、丹後寿司作り体験、丹後ちりめん指導、地域探検学習、縄ない体験、昔の遊び体験、昔のおやつ体験 ○地域公民館活動 ・峰山地域公民館 夏休み職場体験 ・網野地域公民館 歴史探訪講座、網野町ウィークエンド事業 ・丹後地域公民館 たんごふるさと探検隊、ジオパーク講座 ・全地域公民館 夏休み子どもキャンプ、高齢者大学でのジオパーク研修</p> <p>【成果】 子ども達の健やかな成長を支援する体験活動を実施するとともに地域の魅力発見に繋げることができた。京丹後市の自然や歴史への関心と理解を深めることができた。</p> <p>【課題】 市全域で、地域の再発見につながる事業をさらに推進する必要がある。</p>			

施策の 方向性	2. 文化財の保護と活用		
	○市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新等を通して文化財の保全を図ります。		
	○京丹後市史編さん事業での調査成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。		
	○京丹後市デジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。		
	○古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡を整備し、活用することで郷土への誇りと愛着を培い、併せて古代丹後の輝かしい資産を観光資源としても活用します。		

取組事業名	3 市指定文化財等補助金(H27～)	継続	担当課	文化財保護課
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 文化財の修理などの保全事業に補助金を交付することにより、貴重な文化財の保全を図っている。 ○事業対象 寺院、神社の建造物・覆屋の修理、郷土芸能の道具の修理、絵画の修理。 ○事業採択 京都府の補助金採択の要件をみたす文化財 ○事業費 各年度2,500千円(27～29年度)</p> <p>【成果】 文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。 ○補助金交付件数 27年度16件、28年度20件、29年度26件</p> <p>【課題】 予算に対して事業件数が多く、補助金交付要綱に規定の補助金を交付できない状況がある。(補助金の充当率が低い)</p>			

取組事業名	4 史跡等維持管理事業(H27～)	継続	担当課	文化財保護課
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 指定文化財やそれに関連する施設の維持管理を行い、文化財の適切な管理と活用を図っている。 ○史跡等の草刈、清掃などの管理18件、コウノトリモニタリング、市指定文化財の修繕などを実施。</p> <p>【成果】 文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。</p> <p>【課題】 文化財説明看板、案内看板の設置・更新が必要</p>			

取組事業名	5 市史編さん事業(H27～H28)	終了	担当課	文化財保護課
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 京丹後市史を刊行し、京丹後市の歴史や自然環境の特徴を多くの市民に知らせた。 ○平成17年度から本事業に取組み、平成28年度で当初予定していた市史発刊が完了(本文編2冊、資料編12冊、合計14冊) ○市史編さん資料刊行に際して文化財セミナーを開催</p> <p>【成果】 ○27年度刊行 本文編『図説京丹後市の自然環境』、資料編『京丹後市の古地図』 ○28年度刊行 資料編『京丹後市のまちなみ・建築』 ○発刊を記念した文化財セミナーで、京丹後市の歴史・文化財等の普及啓発に活用した。</p> <p>【課題】 ○市史編さん事業により調査して明らかになったこと、刊行した市史の地域づくり、町づくりへの活用を図る必要がある。 ○市史編さん事業は終了したが、その調査成果の普及と活用は継続する必要がある。</p>			

取組事業名	6 文化財整理事業事業(H27～H28)	終了	担当課	文化財保護課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 写真資料のデジタル化、網野郷土資料館の民俗資料の資料移転に伴う資料整理と台帳化を実施した。</p> <p>【成果】 ○27年度 写真資料のデジタル化3,685点 ○28年度 網野郷土資料館収蔵資料の目録化3,900点</p> <p>【課題】 ○旧町ごとに収集、収蔵している民俗資料を郷土資料館(旧郷小学校)、学校跡施設を活用し集約保管する必要がある。 ○保管している写真フィルム、写真などをデジタル化して資料の保存を図る ○整理事業は項目として終了したが、資料館事業での資料整理は必要である</p>			

取組事業名	7 遺跡整備事業(H27～)	継続	担当課	文化財保護課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 京丹後市の国指定文化財の中で、日本海側最大の丹後の王の古墳である網野銚子山古墳について、歴史資料・観光資源として活用するため、整備を進めている。</p> <p>【成果】 ○27年度 古墳全体の地形測量実施、発掘調査実施した。(14,595千円) ○28年度 駐車場用地購入、小銚子古墳の地形測量、発掘調査実施した。(17,854千円) ○29年度 基本設計、樹木伐採、作業小屋解体撤去、発掘調査実施した。(11,371千円)</p> <p>【課題】 京丹後市民にとって丹後王国の隆盛と誇りとなる古墳であり、市外の多くの人に見学してもらおう観光資源として活用を図る。また、古墳を基盤にした各種イベントの創設が必要である。</p>			

取組事業名	8 遺跡発掘調査等事業(H27～)	継続	担当課	文化財保護課
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 網野銚子山古墳、女布遺跡、左坂南古墳、遺跡分布調査、工事開発に伴う発掘調査を実施している。</p> <p>【成果】 遺跡の保護にかかる資料を得、開発等の調整を図ることができた。 ○27年度 途中ヶ丘遺跡試掘調査(駐車場地)、女布遺跡試掘調査(ほ場整備)、遺跡分布調査を実施した。 ○28年度 左坂南古墳試掘調査、大宮売神社試掘調査、女布遺跡試掘調査(ほ場整備)、井谷遺跡試掘調査、遺跡分布調査を実施した。 ○29年度 網野銚子山古墳発掘調査、網野銚子山古墳地中探査調査、女布遺跡試掘調査(ほ場整備)、途中ヶ丘遺跡発掘調査(陸上競技場の整備)を実施した。</p> <p>【課題】 ○市指定、府指定史跡の性格と範囲を確認するための遺跡範囲確認調査が必要な遺跡がある。 ○高規格道路の整備計画の進展と遺跡の分布調査についても進める必要がある。</p>			

施策の 方向性	3. 資料館施設の整備充実		
	○ 市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。		
	○ 児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。		
	○ 郷土の歴史や文化財の調査を進め、貴重な資料を保管し後世に伝えます。		
	○ 資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。		

取組事業名	9 郷土資料館管理運営事業(H27～)	継続	担当課	文化財保護課
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 民俗資料の調査保存、公開施設である資料館の管理運営を行っている。 ○民俗資料の拠点施設である旧網野郷土資料館の老朽化に伴い整備を図った 27年度 旧郷小学校基本計画を策定(策定委託料2,997千円) 29年度 旧郷小学校を用途変更、改修、資料移転(移転関係経費8,101千円) 30年度 京丹後市郷土資料館としてオープン ○民俗資料を適切に保管・公開し、各季の企画展や郷土資料館祭りを開催、文化財保護の普及啓発を図った 27年度 戦後70年関連展示 28年度 昔のくらし展 ○郷土資料館は小学校3年生の社会科学習の見学コースとなっており、丹後学においても重要である。 ○各施設に保管している民俗資料の集約化を行っている。(旧久美浜庁舎→旧川上小学校)</p> <p>【成果】 ○入館者数は、27年度1,035人、28年度713人、29年度285人(7月末で休館)。 ○市内小学生の社会科見学受け入れは、実物に触れさせるなどさまざまな工夫を行うことで学習効果の向上につながった。</p> <p>【課題】 ○各施設に保管している民俗資料の集約・移転整理を進める必要がある。 ○旧木津村役場資料などの古文書資料や、丹後震災関係資料の保管整理を行い、展示公開を充実させる必要がある。</p>			

取組事業名	10 古代の里資料館管理運営事業(H27～)	継続	担当課	文化財保護課
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 ○特別展、企画展、資料館まつり等を開催、文化財保護の普及啓発を行っている。 27年度 「北但馬地震から90年」、「丹後の村から見た戦争-村人と兵隊」、「網野銚子山古墳の世界」、「夏休みこども陶芸教室」 28年度 「丹後国を描いた絵図」、「絵図に見る京丹後市の景観」、「縁城寺の文化財」、「丹後震災90年」、「夏休みこども陶芸教室」 29年度 「丹後ちりめんと峯山藩」、「平八幡神社の絵巻」、「大宮売神社～古代祭祀とその後の展開～」、「震災から立ち上がったまち」</p> <p>【成果】 ○入館者数は、27年度3,616人、28年度3,735人、29年度3,491人 ○小中学校の地域学習施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。</p> <p>【課題】 ○開館から20年以上経過、屋内外の設備更新及び屋外施設(竪穴式住居等)の修繕等の検討が必要 ○資料館の普及啓発、PRを充実させる</p>			

取組事業名	11 指定管理施設運営事業(H27～)	継続	担当課	文化財保護課
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 琴引浜は京丹後市の美しい環境のシンボルで鳴き砂文化館で体験、展示し、山陰海岸ジオパークの拠点施設地である。入館者を増やす広報、PR活動により来館者も多い。掛津区が指定管理で管理運営しており琴引浜との連携の取り組みも実施している。体験実習メニューも増やし入館料、物品販売収益も多い。 ○主な事業 企画展、体験ツアー、学校関係、ジオパーク関係事業、ケネディ大使来館、マサチューセッツ州の鳴き砂の浜との交流。</p> <p>【成果】 入館者 27年度12,361人、28年度9,779人、29年度11,705人、(開館後15年を経過しても入館者が10,000以上)</p> <p>【課題】 木造2階建ての建物であり、建物は日本ナショナルトラストの建物である。指定管理により掛津区が管理運営実施で、建物が修繕が必要な箇所がある。</p>			

【主な目標指標の推移と成果・今後の課題】

目標指標	単位	計画作成時 (H25年度)	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末	目標値 (H36)
文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468 (5事業、17講座)	1,169	593	1,177		1,700
資料館、文化館入館者数	人	13,808 (3施設)	17,026	14,227	14,920		15,000
史跡整備	遺跡	6	7	7	7		8

これまでの成果と今後の課題

《文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数》

【成果】

文化財セミナー、京丹後史博士講座、鳴き砂サミット、丹後震災記念展、網野銚子山古墳現地説明会等を開催し延べ454人が参加した。29年度は文化財保護課として他機関、団体の歴史講座を担当し講師を務める事業が増加し、京丹後市の文化財歴史事業の普及に努めた。参加者数延723人である。

【課題】

今後の課題としてシンポジウムや文化財の現地見学等の魅力ある事業を実施する必要がある。

《資料館、文化館入館者数》

【成果】

網野郷土資料館の旧郷小学校への移転作業のために7月末で休館したために網野郷土資料館の入館者は減少した。尚小学校3年生の社会科学習については旧郷小学校で実施した。琴引浜鳴き砂文化館の各種事業、広報活動により28年度より入館者は増加した。

(※29年度内訳 網野郷土資料館285名、丹後古代の里資料館2,930名、琴引浜鳴き砂文化館11,705名)

【課題】

郷土資料館、丹後古代の里資料館の特別展示、企画展示の開催と入館者数の増加が課題である。

《史跡整備》

【成果】

文化財マスタープランにより市内主要遺跡等の現状、整備等について検討し整備方針を定めた。整備済の史跡を下記の6史跡とし、今後、早期に整備すべき史跡として、網野銚子山古墳、赤坂今居墳墓、函石浜遺跡、湧田山古墳を定めた。

整備済の史跡

①郷村断層、②湯舟坂2号墳、③高山12号墳、④復元岡1号墳、⑤離湖古墳、⑥浜詰遺跡、⑦網野銚子山古墳
現在、網野銚子山古墳の整備実施中、32年度完成予定。

【課題】

現在網野銚子山古墳を整備しているが、多額の事業費が必要で、整備期間も長期になる。

京丹後市教育振興計画

H27年度～H29年度 主な取組み状況のまとめ

重点目標	7 たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します
基本の方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。

施策の方向性	<p>1. 健康な体づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。 ○ 喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、エイズを含む性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。 ○ 食の知識や規則正しい生活習慣等を身につけさせるため、適切な給食指導を行うとともに、「丹後学」等を通して地場産物や郷土食に親しむ学習をするなど、家庭や地域と連携した食育の取り組みを進めます。 ○ 児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の一貫した体育指導を進めます。 ○ 学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用したスポーツ指導を進めます。
--------	--

取組事業名	1 小中一貫教育推進事業(H27～)《再掲》	継続	担当課	学校教育課																								
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行っている。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中一貫教育研究推進協議会</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>学校教育連携専門部会</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td> 学校運営部会</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td> カリキュラム作成部会</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>教育フォーラム</td> <td>1(峰山中)</td> <td>1(網野中)</td> <td>1(大宮中)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○丹後学モデルカリキュラム作成(H28.3月) ○保幼小接続モデルプラン作成(H28.3月) ○外国語活動・外国語科モデルカリキュラム作成(H30.3月) ○小中一貫教育全国サミットへの参加(H29:京都市) ○H27.4月 小中一貫教育 実施校:峰山・大宮・網野中学校区、準備校:丹後・弥栄・久美浜中学校区 ○H28.4月 小中一貫教育実施校:全中学校区</p> <p>【成果】 ○平成28年度から小中一貫教育を市内全域で実施し、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備を推進することができた。 ○小中一貫教育の実施により、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法等を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。 ○合唱祭等の小中連携、合同授業等の小小連携、合同避難訓練等の幼保小中連携等、学園内の小中学校が連携した教育活動の充実を図ることができた。 ○関係者評価項目等の設定条件により、学園の取組等についての検証・評価を各校園単位で進めることができた。また、全学園に設置された学校と地域との連携組織で学園評価を進めることも大きく前進した。</p> <p>【課題】 小中一貫教育推進基本計画に基づき、また新学習指導要領の実施を踏まえ小中一貫教育の研究及び検証を進め、より良い教育体制の整備推進を着実に進めていく必要がある。</p>					平成27年度	平成28年度	平成29年度	小中一貫教育研究推進協議会	3	3	2	学校教育連携専門部会	18	18	6	学校運営部会	3	3	3	カリキュラム作成部会	15	15	3	教育フォーラム	1(峰山中)	1(網野中)	1(大宮中)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度																									
小中一貫教育研究推進協議会	3	3	2																									
学校教育連携専門部会	18	18	6																									
学校運営部会	3	3	3																									
カリキュラム作成部会	15	15	3																									
教育フォーラム	1(峰山中)	1(網野中)	1(大宮中)																									

施策の 方向性	2. 地域スポーツ活動の推進		
	○ スポーツ推進委員をはじめ地区公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事等への協力等、スポーツの普及を図ります。		
	○ 市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動支援及び組織強化を支援します。		
	○ 市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するために、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。		

取組事業名	2 スポーツ推進委員活動事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課																																	
取組内容 及び 成果と課題	【取組内容】 市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、地域のスポーツ振興を図るためニュースポーツ教室等の開催及び地区活動・行事等に協力している。 ○ノルディック・ウォーキング体験会の開催 ○ニュースポーツ教室の開催(ビーチボールバレー、ファミリーバドミントンほか) ○地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導 (ノルディック・ウォーキング、ニュースポーツ、体力テストほか) ○スポーツ大会への協力(丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝ほか)																																				
	<table border="1"> <tr> <td>スポーツ推進委員数</td> <td>平成27年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成29年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>52人</td> <td>49人</td> <td>50人</td> </tr> </table>				スポーツ推進委員数	平成27年度	平成28年度	平成29年度		52人	49人	50人																									
	スポーツ推進委員数	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																	
		52人	49人	50人																																	
	＜ニュースポーツの活動状況＞																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 目</th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノルディック・ウォーキング</td> <td>102回</td> <td>1,598人</td> <td>77回</td> <td>1,308人</td> <td>51回</td> <td>806人</td> </tr> <tr> <td>ニュースポーツ</td> <td>52回</td> <td>1,012人</td> <td>88回</td> <td>1,406人</td> <td>81回</td> <td>1,554人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>154回</td> <td>2,610人</td> <td>165回</td> <td>2,714人</td> <td>132回</td> <td>2,360人</td> </tr> </tbody> </table>				種 目	平成27年度		平成28年度		平成29年度		実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	ノルディック・ウォーキング	102回	1,598人	77回	1,308人	51回	806人	ニュースポーツ	52回	1,012人	88回	1,406人	81回	1,554人	計	154回	2,610人	165回	2,714人	132回	2,360人
種 目	平成27年度		平成28年度		平成29年度																																
	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数																															
ノルディック・ウォーキング	102回	1,598人	77回	1,308人	51回	806人																															
ニュースポーツ	52回	1,012人	88回	1,406人	81回	1,554人																															
計	154回	2,610人	165回	2,714人	132回	2,360人																															
【成果】 スポーツ人口の底辺を拡大するため、「ノルディック・ウォーキング」を重点推進種目として普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供した。																																					
【課題】 更なる普及を目指し、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域や学校行事にスポーツ指導をする場を設けてもらえるよう地区公民館等へ働きかけていく必要がある。																																					

取組事業名	3 保健体育総務一般経費(H27～)	継続	担当課	生涯学習課
取組内容 及び 成果と課題	【取組内容】 社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、京丹後市スポーツ推進審議会において、スポーツ推進計画に基づく各種施策について進捗状況を確認するとともに、市民の声を反映したスポーツ活動の推進を図るため、「第2次京丹後市スポーツ推進計画」策定に係る答申を行った。 ○スポーツ推進審議会(委員12人) ※「第2次京丹後市スポーツ推進計画」策定に係る答申:平成30年3月19日			
	【成果】 京丹後市スポーツ推進審議会から市民や関係団体の声を反映した答申を受け、「第2次京丹後市スポーツ推進計画」を策定した。			
	【課題】 「第2次京丹後市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ環境の整備等に向けた取組を一層進める必要がある。			

取組事業名	4 地域スポーツ推進事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課																																																			
取組内容及び 成果と課題	<p>【取組内容】 ※府民総合体育大会(H27)、市民総合体育大会事業(H27)含む スポーツを通じた市民相互の交流機会の提供や競技力向上を図り、全ての市民の健康増進や活力ある生活を目指すため、市民が気軽に親しめるスポーツ大会等を実施した。</p> <p><事業名及び参加者数等></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">スポーツ事業名</th> <th colspan="3">参加者数等</th> </tr> <tr> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北近畿中学生ソフトテニス大会</td> <td>220人</td> <td>192人</td> <td>176人</td> </tr> <tr> <td>弥栄町文化祭駅伝大会</td> <td>97人</td> <td>210人</td> <td>215人</td> </tr> <tr> <td>はしうど杯卓球選手権大会</td> <td>108人</td> <td>93人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>市長杯中学生野球大会</td> <td>6校</td> <td>5校</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>久美浜湾一周駅伝競争大会</td> <td>618人</td> <td>624人</td> <td>540人</td> </tr> <tr> <td>カヌースプリント春季・秋季大会、カヌー交流大会</td> <td>112人</td> <td>108人</td> <td>166人</td> </tr> <tr> <td>関西学生対校駅伝競走大会</td> <td>20校</td> <td>22校</td> <td>22校</td> </tr> <tr> <td>府民総合体育大会(15競技19種目)</td> <td>289人</td> <td>281人</td> <td>239人</td> </tr> <tr> <td>市民総合体育大会(16競技23種目)</td> <td>1,167人</td> <td>2,042人</td> <td>2,000人</td> </tr> <tr> <td>あみの八丁浜ロードレース大会</td> <td>550人</td> <td>612人</td> <td>670人</td> </tr> <tr> <td>近畿高等学校駅伝競走大会</td> <td>1,400人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 平成27年度の関西学生対校駅伝競走大会は、商工費(スポーツイベント推進事業)で実施 平成27年度の市民総合体育大会は、雨天のため陸上・軟式野球・ソフトボール・ソフトテニス・テニス競技が中止</p> <p>【成果】 市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会等を支援することにより、市民の健康・体づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の拡充、地域力の活性化に寄与した。</p> <p>【課題】 今後、健常者と障害者の交流を含めた、障害者が参加できるスポーツ事業の推進に努める必要がある。</p>				スポーツ事業名	参加者数等			平成27年度	平成28年度	平成29年度	北近畿中学生ソフトテニス大会	220人	192人	176人	弥栄町文化祭駅伝大会	97人	210人	215人	はしうど杯卓球選手権大会	108人	93人	100人	市長杯中学生野球大会	6校	5校	6校	久美浜湾一周駅伝競争大会	618人	624人	540人	カヌースプリント春季・秋季大会、カヌー交流大会	112人	108人	166人	関西学生対校駅伝競走大会	20校	22校	22校	府民総合体育大会(15競技19種目)	289人	281人	239人	市民総合体育大会(16競技23種目)	1,167人	2,042人	2,000人	あみの八丁浜ロードレース大会	550人	612人	670人	近畿高等学校駅伝競走大会	1,400人		
	スポーツ事業名	参加者数等																																																					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度																																																			
	北近畿中学生ソフトテニス大会	220人	192人	176人																																																			
	弥栄町文化祭駅伝大会	97人	210人	215人																																																			
	はしうど杯卓球選手権大会	108人	93人	100人																																																			
	市長杯中学生野球大会	6校	5校	6校																																																			
	久美浜湾一周駅伝競争大会	618人	624人	540人																																																			
	カヌースプリント春季・秋季大会、カヌー交流大会	112人	108人	166人																																																			
	関西学生対校駅伝競走大会	20校	22校	22校																																																			
	府民総合体育大会(15競技19種目)	289人	281人	239人																																																			
	市民総合体育大会(16競技23種目)	1,167人	2,042人	2,000人																																																			
あみの八丁浜ロードレース大会	550人	612人	670人																																																				
近畿高等学校駅伝競走大会	1,400人																																																						

施策の 方向性	3. 競技力の向上
	○ 学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。
	○ 体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。
	○ 市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。
	○ 青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。

取組事業名	5 社会体育団体育成事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課																		
取組内容 及び 成果と課題	【取組内容】 市民へのスポーツの普及と振興を図るため、本市の体育振興の中心となる組織である京丹後市体育協会に対し支援を行うとともに、青少年の健全育成と体力向上の観点から、京丹後市スポーツ少年団及びスポーツクラブに対して育成支援を行っている。																					
	○京丹後市体育協会補助金 ※H29年度補助金 15,727千円 協会活動費、大会・教室開催補助、広報紙発行(年3回)、事務局賃金(6支部)等																					
	<table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>22協会</td> <td>4,423人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>22協会</td> <td>4,222人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>21協会</td> <td>4,340人</td> </tr> </table>				平成27年度	22協会	4,423人	平成28年度	22協会	4,222人	平成29年度	21協会	4,340人									
	平成27年度	22協会	4,423人																			
	平成28年度	22協会	4,222人																			
	平成29年度	21協会	4,340人																			
	○京丹後市スポーツ少年団活動補助金 市内の青少年スポーツ教室等における活動を支援																					
	<table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>17競技</td> <td>72団体</td> <td>1,649人</td> <td>補助金</td> <td>4,390千円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>17競技</td> <td>70団体</td> <td>1,669人</td> <td>補助金</td> <td>4,042千円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>17競技</td> <td>70団体</td> <td>1,651人</td> <td>補助金</td> <td>3,948千円</td> </tr> </table>				平成27年度	17競技	72団体	1,649人	補助金	4,390千円	平成28年度	17競技	70団体	1,669人	補助金	4,042千円	平成29年度	17競技	70団体	1,651人	補助金	3,948千円
	平成27年度	17競技	72団体	1,649人	補助金	4,390千円																
	平成28年度	17競技	70団体	1,669人	補助金	4,042千円																
平成29年度	17競技	70団体	1,651人	補助金	3,948千円																	
【競技(平成29年度)】 ①野球(軟式・硬式) ②バレーボール ③サッカー ④バスケットボール ⑤剣道 ⑥柔道 ⑦空手道 ⑧レスリング ⑨バドミントン ⑩少林寺拳法 ⑪テニス(硬式・ソフト) ⑫陸上 ⑬卓球 ⑭体操 ⑮新体操 ⑯スキー ⑰カヌー																						
○子どもスポーツ障害対策予防事業補助金 ※H29年度補助金 300千円 スポーツに携わる子どもたちを対象に肩・肘検診を実施し、早期発見・治療、予防に努める																						
<table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>558人受診</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>539人受診</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>504人受診</td> </tr> </table>				平成27年度	558人受診	平成28年度	539人受診	平成29年度	504人受診													
平成27年度	558人受診																					
平成28年度	539人受診																					
平成29年度	504人受診																					
○総合型地域スポーツクラブ活動補助金 ※H29年度補助金 100千円 ※対象1団体(三遊スポーツクラブ) 網野町三津地区を中心に会員(約30名)が、各種スポーツ教室・大会(グラウンドゴルフ、ファミリーバドミントン等)を実施、異世代間の交流イベントを展開																						
【成果】 スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。																						
【課題】 ○青少年のスポーツ活動への参加促進を引き続き支援するため、レベルの高い選手の競技を見る機会を提供するとともに、指導者の育成・確保を図る必要がある。 ○京丹後市体育協会の更なる組織強化を図り、体育振興全般に関連する事業の拡大、効率化を目指す必要がある。																						

施策の方向性	4. 社会体育施設の整備充実
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。 ○ 社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設については、見直しや代替利用のあり方も含めて検討を進めます。

取組事業名	6 体育施設管理運営事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課																																																			
取組内容及び成果と課題	<p>【取組内容】 地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図るため、市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として社会体育施設の運営及び維持管理を行っている。</p> <p><利用実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">体育施設名</th> <th colspan="3">利用件数</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紅葉ヶ丘運動場(テニスコート)</td> <td>223件</td> <td>28件</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>大宮自然運動公園(グラウンド・テニスコート)</td> <td>590件</td> <td>639件</td> <td>440件</td> </tr> <tr> <td>大宮社会体育館</td> <td>933件</td> <td>1,052件</td> <td>943件</td> </tr> <tr> <td>網野グラウンド(グラウンド・屋内ゲートボール場)</td> <td>435件</td> <td>1,137件</td> <td>500件</td> </tr> <tr> <td>網野体育センター(体育室・武道館・テニスコート)</td> <td>1,487件</td> <td>1,337件</td> <td>1,547件</td> </tr> <tr> <td>丹後社会体育館</td> <td>446件</td> <td>466件</td> <td>470件</td> </tr> <tr> <td>豊栄山村広場(グラウンド・屋外ゲートボール場)</td> <td>391件</td> <td>392件</td> <td>247件</td> </tr> <tr> <td>弥栄総合運動公園(体育館・グラウンド・屋根付きゲートボール場など)</td> <td>1,793件</td> <td>1,647件</td> <td>1,769件</td> </tr> <tr> <td>久美浜中央運動公園(グラウンド・テニスコート・屋根付きゲートボール場など)</td> <td>1,083件</td> <td>1,085件</td> <td>1,009件</td> </tr> <tr> <td>その他、体育施設(29施設)</td> <td>3,216件</td> <td>3,836件</td> <td>2,507件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,597件</td> <td>11,619件</td> <td>9,467件</td> </tr> </tbody> </table>				体育施設名	利用件数			H27年度	H28年度	H29年度	紅葉ヶ丘運動場(テニスコート)	223件	28件	32件	大宮自然運動公園(グラウンド・テニスコート)	590件	639件	440件	大宮社会体育館	933件	1,052件	943件	網野グラウンド(グラウンド・屋内ゲートボール場)	435件	1,137件	500件	網野体育センター(体育室・武道館・テニスコート)	1,487件	1,337件	1,547件	丹後社会体育館	446件	466件	470件	豊栄山村広場(グラウンド・屋外ゲートボール場)	391件	392件	247件	弥栄総合運動公園(体育館・グラウンド・屋根付きゲートボール場など)	1,793件	1,647件	1,769件	久美浜中央運動公園(グラウンド・テニスコート・屋根付きゲートボール場など)	1,083件	1,085件	1,009件	その他、体育施設(29施設)	3,216件	3,836件	2,507件	合計	10,597件	11,619件	9,467件
	体育施設名	利用件数																																																					
		H27年度	H28年度	H29年度																																																			
	紅葉ヶ丘運動場(テニスコート)	223件	28件	32件																																																			
	大宮自然運動公園(グラウンド・テニスコート)	590件	639件	440件																																																			
	大宮社会体育館	933件	1,052件	943件																																																			
	網野グラウンド(グラウンド・屋内ゲートボール場)	435件	1,137件	500件																																																			
	網野体育センター(体育室・武道館・テニスコート)	1,487件	1,337件	1,547件																																																			
	丹後社会体育館	446件	466件	470件																																																			
	豊栄山村広場(グラウンド・屋外ゲートボール場)	391件	392件	247件																																																			
弥栄総合運動公園(体育館・グラウンド・屋根付きゲートボール場など)	1,793件	1,647件	1,769件																																																				
久美浜中央運動公園(グラウンド・テニスコート・屋根付きゲートボール場など)	1,083件	1,085件	1,009件																																																				
その他、体育施設(29施設)	3,216件	3,836件	2,507件																																																				
合計	10,597件	11,619件	9,467件																																																				
<p>【成果】 施設の適切な維持管理を行うことで、概ね290,000人(年間利用延人数)が利用するなど、市民スポーツ活動の普及・発展に寄与した。</p>																																																							
<p>【課題】 ○今後もスポーツ活動の拠点として、効率的・効果的な運営を図るため、市の公共施設見直し計画に基づき管理形態の見直しとともに、老朽施設や利用が少ない施設は社会体育施設としての利用廃止も含め、全体のバランスを考慮した配置と整備を図る必要がある。 ○施設の利用手続き等について、利用者の利便性の向上が課題となっている。</p>																																																							

取組事業名	7 社会体育用学校開放施設管理運営事業(H27～)	継続	担当課	生涯学習課						
取組内容及び 成果と課題	【取組内容】 地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図るため、地域住民の身近なスポーツ施設である学校体育施設を開放するとともに維持管理を行っている。									
	＜利用実績＞									
	平成27年度									
	小学校	体育館	施設数	6	2	6	3	2	3	22
			利用件数	2,240	788	1,422	484	353	658	5,945
	グラウンド	グラウンド	施設数	6	2	4	3	2	3	20
			利用件数	793	117	519	157	280	45	1,911
	中学校	体育館	施設数	2	2	2	2	1	2	11
			利用件数	451	433	571	310	215	248	2,228
	グラウンド	グラウンド	施設数	1	1	1	1	1	1	6
			利用件数	25	266	157	100	203	124	875
	合計		59施設						10,959	
	平成28年度									
	小学校	体育館	施設数	5	2	6	3	2	3	21
			利用件数	2,506	732	2,114	464	305	824	6,945
グラウンド	グラウンド	施設数	5	2	4	3	2	3	19	
		利用件数	1,252	212	540	193	229	158	2,584	
中学校	体育館	施設数	2	2	2	2	1	2	11	
		利用件数	488	470	238	302	468	242	2,208	
グラウンド	グラウンド	施設数	1	1	1	1	1	1	6	
		利用件数	20	337	106	145	268	157	1,033	
合計		57施設						12,770		
平成29年度										
小学校	体育館	施設数	5	2	6	3	2	3	21	
		利用件数	2,311	706	1,728	339	408	662	6,154	
グラウンド	グラウンド	施設数	5	2	4	3	2	3	19	
		利用件数	874	251	471	222	305	155	2,278	
中学校	体育館	施設数	2	2	2	2	1	2	11	
		利用件数	537	414	253	347	209	195	1,955	
グラウンド	グラウンド	施設数	1	1	1	1	1	1	6	
		利用件数	22	242	84	77	233	135	793	
合計		57施設						11,180		
【成果】 社会体育用施設として開放されている学校施設について、計画的な維持管理に努め、地域住民に活動の場を提供することにより、地域スポーツの振興と競技力の向上を図った。										
【課題】 今後も市民にとって身近で、安全・快適に利用できる施設の運営に努めていく必要がある。										

取組事業名	8 竹野体育館改修事業【再編交付金活用事業】(H27～H29)	終了	担当課	生涯学習課
取組内容及び 成果と課題	【取組内容】 社会体育施設として活用している竹野体育館について、耐震診断の結果、耐震等の改修を行う必要があると判断されたことにより、改修工事を実施した。 RC造(一部S造)2階建て:延床面積589㎡ ・外壁改修 ・屋根防水改修 ・落下危険物撤去(バスケットゴール等) ・スロープ設置			
	【成果】 老朽化していた体育館を改修することにより、安全・安心に利用できる環境を確保することができた。			
	【課題】 改修したことにより、より多くの市民に利活用していただけるよう周知する必要がある。			

【主な目標指標の推移と成果・今後の課題】

目標指標	単位	計画作成時 (H25年度)	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末	目標値 (H36)
朝食を毎日食べる児童の割合<小学校>	%	97.8 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	98.2	96.9	96.9		100
朝食を毎日食べる生徒の割合<中学校>	%	91.1 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	93.6	94.0	94.7		95%以上
平日、午前7時より前に起きる児童の割合<小学校>	%	88.4 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	86.0	92.0	89.6 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙から外れたため京都府学力テスト質問項目による)		100
平日、午前7時より前に起きる生徒の割合<中学校>	%	77.2 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	49.0	91.0	93.0 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙から外れたため京都府学力テスト質問項目による)		85%以上
平日、午後11時より前に寝る児童の割合<小学校>	%	91.6 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	84.0	98.2	97.1 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙から外れたため京都府学力テスト質問項目による		100
平日、午後11時より前に寝る生徒の割合<中学校>	%	45.0 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	22.0	61.3	57.5 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙から外れたため京都府学力テスト質問項目による		50%以上
小学生(5年生)の体カテスト全国平均以上	種目	8種目中 7種目	8種目中 3種目	8種目中 5種目	8種目中 5種目		全種目
中学生(2年生)の体カテスト全国平均以上	種目	8種目中 4種目	8種目中 6種目	8種目中 4種目	8種目中 6種目		全種目
成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	21.6 市民アンケート調査結果	30.0	40.9	—		65.0 (国の目標)
京都府民総合体育大会入賞競技数	競技	6 京都府民総合体育大会結果	7	5	6		10
公共スポーツ施設の利用回数	回	11,253 公共施設利用状況調査結果	13,820	12,748	11,665		13,000

これまでの成果と今後の課題

《朝食を毎日食べる児童生徒の割合》

【成果】

朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小中学生ともに増加傾向にあり高い水準で推移し、各校園における家庭向けの啓発及び児童生徒への丁寧な指導により確実に定着してきている。

【課題】

今後も保護者との連携を密にし、児童生徒全員が朝食を毎日食べる取組を進めていく必要がある。

《平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合》

【成果】

平日午前7時より前に起きる児童生徒の割合は、小学生が2.4%減少したものの中学生は2%増加し、小中学生ともに高い水準で推移している。また、中学生は調査時期によって実績値が大きく変動する現状がある。

【課題】

今後も各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。

《平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合》

【成果】

平日午後11時より前に寝る児童生徒の割合は、小中学生ともに減少したものの小学生では高い水準で推移している。また、中学生は調査時期によって実績値が大きく変動する現状がある。

【課題】

今後も各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。

《小学生(5年生)の体カテスト全国平均以上》

【成果】

小学校においては、握力及び上体起こし、長座体前屈などの柔軟性が全国平均を下回っており、前年度と同様の傾向が見られる。

【課題】

今後は各校への課題の周知により、体育の時間だけでなく、教育活動等を通じた体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力についての克服を図っていく必要がある。

《中学生(2年生)の体カテスト全国平均以上》

【成果】

中学校においては、握力及び長座体前屈などの柔軟性が全国平均を下回ったが、前年度と比べて全国平均を上回る種目が増加した。

【課題】

今後は各校への課題の周知により、体育の時間だけでなく、教育活動等を通じた体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力についての克服を図っていく必要がある。

《成人の週1回以上のスポーツ実施率》

【成果】

アンケート結果から、この1年間で行った運動やスポーツ及び今後行いたい運動やスポーツは、いずれも「ウォーキング」が最も多く、重点推進種目としてウォーキング及び運動効率の高いノルディック・ウォーキングに取り組み、延べ1,611人の参加を得た。

【課題】

ウォーキングを更に効果的に推進し、継続できる支援として、各種イベント等との連携などに努める必要がある。

《京都府民総合体育大会入賞競技数》

【成果】

平成29年度は、総合成績11位、入賞6種目という結果に終わった。

【課題】

体育協会の登録者の高齢化が進み、また登録者数が年々減少するなど、競技スポーツ離れが見られる。
今後は、若年層競技者の発掘・拡大はもとより、競技力向上のためには、指導者の育成、競技場等の整備に取り組む必要がある。

《公共スポーツ施設の利用回数》

【成果】

学校再配置に伴う社会体育施設の増加とともに、施設の老朽化が進んでいるが、利用者の安全性を考慮し、必要な修繕等に努めた。

【課題】

今後は、社会体育施設の維持管理経費が増大する中、大規模改修が必要な施設・利用頻度が少ない施設等の廃止について検討する必要がある。